第十一次基本計画 実施計画(目的指向体系表)

政策目標4

心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち

- 施策4-1 教育環境の整備
- 施策4-2 未来を創る教育の充実(小・中学校)
- 施策4-3 生涯学習活動の推進
- 施策4-4 青少年の健全な育成
- 施策4-5 市民スポーツ活動の推進
- 施策4-6 歴史・芸術文化の振興
- 施策4-7 郷土愛の醸成

担	当語	教育総務語	男				施策4-1	の全指標達成	龙 率		1		
政策	目標	4 心豊かな/		きるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7			
施策	分野	1 教育環境の	 D整備		指標数	18	18	19	19	19	1		
		児童・生徒		童 ● 生徒	達成数	14	11	12	12	0			
目指	旨す:		やすい環境が整っている	J. T. K.	達成率	77.8%	61.1%	63.2%	63.2%	0.0%			
					指標数	3	3	3	3	3]		
1 F		!指標(KPI))		達成数	3	3	3	3	0			
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%			
成果	a	旧辛州往4	人当たりの教育用コン	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
指標	5	元里王ルー) ピュー夕数	ヘヨにりの教育用コノ	R1	目標値実績値	1.03	1.07	1.11	1.14	1	台	教育総	
1				0.16台		〇 達成	〇 達成	〇 達成	○ 達成		以上	務課	
目標の		※GIGAスク	GIGAスクール構想(※ 7ール構想・・・1人1台端末 3様な子供たちを誰一人取り残	と、高速大	容量の通	信ネットワ	ークを一体	的に整備する	ることで、特	詩別な支援を なできる教育	E必要。 發環境:	とする を実現	
		<i>y</i> & 6		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
b										改修計画に			
成 指標 2	5 3		画に基づく具体的な改 定・改修の実施	R2	目標値	0/14		.,		成修計画に 基づく改修 の実施 2/12	校	教育総 務課	
				未策定	実績値評価	○ Z 2 0 Z 14 O 達成		1/12	1/12		以上		
日輝	店 !	統廃合が決定	している学校(東・西・旭	 川) 及が						」 あると考え		る学	
の	7	校(南小・南	中・大池小・門野中)につ	いて優先的		jを策定し、 	改修を実	施すること	ことする。	(目標値に	は改修	実施	
成果	考え方 済みの学校数) 成果 指標 3 異物混入、アレルギー、食中毒 等、給食を原因として人体に影響 を及ぼす事故の発生件数 基準値 R3 R4 R5 R6 R7 単位 担												
成果 指標 3 実物混入、アレルギー、食中毒 等、給食を原因として人体に影響を及ぼす事故の発生件数 基準値 R3 R4 R5 R6 R7 度 日標値 の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0													
3	大切に入、アレルギー、良中毎 R1 目標値 O O O O O O O O O												
の	を及ぼす事故の発生件数												
R 3 年度													
R 4年度	2 (3 ((次年度修正点) (実績評価) (次年度修正点) (実績評価) (次年度修正点)	・令和4年度の児童生徒数3.6 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に ・統合に伴う東小学校校舎の ・今後計画する学校の改修修 ・アレルギーガイドブック改	保証も終了 修繕等を行 改修修繕を 繕箇所の選 訂、衛生研 、原因食材	しており っていく 実施した 定を行う 修会の実 も多岐に	、 会 会 会 は の 。 に 施 な ど 、 市 渡 る た め 、 で に に で に に に に に に に に に に に に に	する端末の 内全校で共 事故防止の	増加が加速 有すること 研修会を実	すると予想る で事故を未然 施することで	然に防止する	5体制	が強化	
			・令和5年度の児童生徒数3,・今後の端末故障が増加傾向			, –				を行っていく	. .		
0	2	(実績評価)	 ・統合に伴う東小学校校舎の	改修修繕を	実施した	。南中学校	のトイレ設	備、照明設備	iiの更新を3	実施した。			
R 5 年			・今後計画する学校の改修修						ngマンメーか ごう	رين <i>ن</i> ارن			
度	3	(実績評価)	・主要7品目から8品目に変 研修会の実施など、市内全校								D開催	、衛生	
			・アレルギー児童生徒数の原 し、原因となった事例の再発	防止に努め	、再発防	正策を講じ	る。			案の発生を表	ト然に	防止	
	1 ((実績評価)	・ 令和6年度の児童生徒数3,2	266人に対	し、端末	3,723台(令和6年度	末)を整備し	ンた。				
	((次年度修正点)	・ 今後の端末故障が増加傾向	にあること	から、3	lき続き目標	値を達成で	きるよう適け	辺に修繕等る	を行っていく	<.		
R	2	(実績評価)	・令和6年度の実績はなし。										
6 年 度	((次年度修正点)	・市内小・中学校の統合計画	の進捗に合	わせ、長	寿命化計画	iを策定して	いく。					
			アレルギーガイドブックの を実施した。年度当初の会議ヒヤリハットを共有することなった事例の再発防止につ	等において とで重大事	各校で実 案の発生	施方法を共 を未然に防	有し、事故 i止できるよ	を未然に防力を未然に防力、毎年ア	上する体制で ノルギー対象	を整えること	こがで	きた。	

					指標数	15	15	16	16	16	※ 基	本的な取			
2		基本的な取組(2桁コード)	主な内容(4桁=	Jード)	達成数	11	8	9	9	0		・主な内 の達成状			
					達成率	73.3%	53.3%	56.3%	56.3%	0.0%	況	刀连戍机			
		ルーカ党技の担告と	可要の溶まル		指標数	1	1	2	2	2					
(01	│ 小・中学校の規模と関	北直の週上化	達成状況	達成数	1	1	2	2	0					
		' の推進			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%					
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
	0	「伊東市立小・中学校の 101 規模及び配置の適正化に	の円滑な統合の実	R1	目標値	協議会の開 催	統合の実現	統合後の フォロー アップの実 施	統合後の フォロー アップの実 施	統合後の フォロー アップの実 施	実現	教育総務課			
		向けた基本方針」の実現	現	基本方針	実績値	2回開催	実現	実施済	実施済			المالدة			
				の策定	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成						
	ľ	0102 新たた甘木方針の検討 が/に体坐体/ブッツ													
	RAL E E E E E E E E E														
	R 3	0102 -					り 年 2 回 () 原	神惟となった	-0						
年	R 4	O101 統合地域協議会を3回 O102 -	回開催し、了承を得	た上で統合	の実現を	を達成した。									
度評価	0101 統合後の通学支援としてスクールバスの運行及び乗車場所での見守り、スクールバスを利用しない場合には路線バス通学定期券の10割補助を実施し、統合における通学の負担を可能な限り抑えた。0102 東・西・旭小学校統合後に伊東小学校の教職員及び保護者を対象にアンケートを実施した。														
	R 6				-										

^{※1} 令和5年度から着手するものであることから、基準値を一とした。

		学校施設の環境整備が	1375老朽化対		指標数	4	4	4	4	4			
(02	· 策	XO 50701070	達成状況	達成数	1	1	1	0	0			
					達成率	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		担当課	
		学校校舎トイレの改修	校舎内トイレの洋	R2	目標値	55.0	65.0	75.0	85.0	100.0	%	教育総	
	02	201 (床の乾式化・洋式便	式化率	49.3%	実績値	51.5	61.8					務課	
		器の増設等)	-110 1			× 未達成					以上	3,3 0,11	
		200 映像装置のデジタル化		R2	目標値	8/14	9/14	10/12	11/12	12/12	校	教育総	
	02	202 映像装直のナンタル化 改修	整備済学校の割合	6校/	実績値	6/14	6/14	6/12	6/12			務課	
				15校		× 未達成					以上	3,5 0,11	
		202 校舎屋上防水工事の実		R2	目標値	8/14	9/14	The state of the s		12/12	校	教育総	
	O2	203 施	実施済学校の割合	7校/	実績値	7/14	8/14	8/12	8/12			教 目 心 務 課	
		116		15校	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	AUCC	
		学校施設の長寿命化を	日本的なみ収録面	R2	目標値	1/14	1/14	1/12	2/12	2/12	校	李	
	O2	204 図るための大規模修繕	具体的な改修計画の策定	O校	実績値	1/14	1/14	1/12	1/12		111	教育総務課	
		の検討	の泉足	O fix	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	× 未達成		以上	が味	
	0201 東小学校校舎トイレの洋式化を実施し、24基を整備したが、全体実績値は目標が達成できなかった。令和4年度は南小学校およて 門野中学校の校舎トイレの洋式化を実施し、目標の達成を図りたい。												
	門野中学校の校舎トイレの洋式化を実施し、目標の達成を図りたい。 02002 冬粉索の子ざな川ニレビ(電子里振)の整備と併せて検討していく予定だったが、電子里振の孔の整備となった。物生度以降計画												
	0202 各教室のデジタルテレビ(電子黒板)の整備と併せて検討していく予定だったが、電子黒板のみの整備となった。次年度以降計画												
	R 的に改修を行っていく。												
	3 0203 東小学校校舎屋上防水工事を実施しているが、実績値は達成できなかった。次年度以降計画的に改修を行っていく。												
		0204 東小学校校舎の改修	計画を策定した。老	朽箇所の把	握や学校	なのあり方の)要望調査に	時間を要す	るためR4以	降の目標値	を変	更し	
		た。											
		O2O1 南小学校及び門野中等 令和5年度は南中学校						実績値は目標	標値を達成で	きなかった	.0		
	R	O2O2 各教室のデジタルテし 次年度以降計画的に		整備と併せ	て検討し	ノていく予定	だったが、	目標値を達	成できなかっ	った。			
年	4	0203 東小学校校舎屋上防力		、実績値は	達成でき	きなかった。	次年度以降	計画的に改	修を行ってし	, \< ₀			
		O204 東小学校校舎の改修る	を完了した。										
度		O2O1 南中学校西側校舎トー	イレの洋式化を実施	し、新たに	25基を	整備したが、	全体実績個	直は目標値を	を達成できな	かった。			
		令和6年度は残る南中											
		0202 各教室のデジタルテし		整備と併せ	て検討し	っていく予定	だったが、	目標値を達	成できなかっ	った。			
≣亚	R	次年度以降計画的に	枚修を行っていく。										
UI	5	0203 東小学校校舎屋上防水	K工事を実施したが	、実績値は	達成でき	きなかった。	次年度以降	計画的に改	修を行ってし	/ \ <.			
		0204 伊東小学校(旧東小学	学校)校舎の改修を	完了した。									
価													
		0201 改修の実績はないが、	次年度以降市内小	中学校の	統合計画	回の進捗に合	わせ、計画	的に改修を	行っていく。				
		0202 各教室のデジタルテレ		整備と併せ	て検討し	っていく予定	だったが、	目標値を達	成できなかっ	った。			
	R	次年度以降計画的に											
	6	0203 防水工事としての実績	責はないが、八幡野	小学校屋上	の老朽化	どが著しい部	分について	、修繕にて	防水施工を行	うった。			
		0204 市内小・中学校の統領	合計画の進捗に合わ	せ、大規模	修繕計画	画を検討して	いく。						

		学杯	交給食センターを)	最大限に活用		指標数	5	5	5	5	5		
()3		に食育と地産地消		達成状況	達成数達成率	80.0%	60.0%	60.0%	80.0%	0.0%		
			 主な内容	管理指標	基準値	建热平	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			後の児童生徒数を見	給食調理実施校(委託 校を除く。) 1 校当た	R1	目標値	2人以上	2人以上	2人以上	2人以上	2人以上	1	*
	03	-	えた学校調理場の集	りの調理員(短時間	44 L / 4±5	実績値	8人/3校	8人/2校	5人/1校	5人/1校		人	教育総開務課
		約		パート職員を除く。) の配置人数	11人/4校	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成			1万0木
			<u> </u>	異物混入、アレルギー、食 中毒等、給食を原因として	R1	目標値	0		0	0	0	件	教育総
	03	302 安	全安心な給食の提供	人体に影響を及ぼす事故の 発生件数(市内全校)	0件	実績値	0 75.0		0 75.0	0 75.0			務課
		rh.th	1 + 2 * + 4		R2	評価	○ 達成 対前年減	○ 達成 対前年減	○ 達成 対前年減	○ 達成 対前年減	対前年減	0/	*
	03	303	力ある学校給食の提	給食における残食 率(市内全校)	6.24%	実績値	7.55	8.02	9.27	8,23	W-11-100	%	教育総務課
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			-,				× 未達成		10/10		1万0木
	03		校給食を通じた食育	給食の時間におけ る食に関する年間		目標値 実績値	14/14 14/14		12/12 12/12	12/12 12/12	12/12	校	教育総
		ວ · ທ	推進	指導計画の作成率				○ 達成	- : : -	○ 達成		•	務課
		学	校給食を活用した地	給食食材に占める	R2	目標値	対前年増		対前年増	対前年増	対前年増	%	教育総
	O:		地消の推進	市内産食材の使用 割合(市内全校)	5.0%	実績値評価	10.9		4.8 × 未達成	4.0		. , ,	務課
		0301	R3年度2学期から記		 食センター						<u> </u> 今により西/	トンが廃	校とな
			ることから、単独調理	理場は八幡野小だけ	となる。今	後も単独	は校の良さを	活かした学	校給食の提	供を目指す。			
		0302	給食センターを拠点し									た衛	生管理
	Ь		について作業確認を 献立のあり方について	美施し、八幡野小は、	研究授業に	可以による	衛生管理が	代会を開催	し(衛生恵	説の回上にきる公理が	労めた。 H女宝歩した	立に干	
	R 3	0303	ウイルス感染症拡大に	はる喫食方法(黙食)の影響を	、いるとは	- 和良で地産とによると思	地方寺で泊り	日とに魅力的	い残食率とな	Rを美心した ふった。	.。 和台	ارالق
		0304	市内の小中学校で給資									E。今	後も給
			食関係職員が定期的										
		0305	地元農家をはじめ、農「地産地消推進事業」	協や青果店などの協	力もあり、: 回数・使用:	地元で生産	全された野菜 個向にあり	等を納入でる	きる機会が増	え、安定的に	こ使用するこ B 性オ	とがて	できた。
			R5年度から東小・									/ 帅悉 野	りだけ
		0301	となった。単独校の										
		0000	を目指す。			+ 1/2 0 15	3/11 a di 10/10		4	L trt ID I = - I	. —	- 00 /44	+
		0302	給食センターを拠点 とで作業確認を実施			は記憶は	屋供の実現に	- 努めた。R	4年度は衛3	E管理につい	1(研究会を	開催	960
	R 4	U2U2	献立のあり方についる			EL, 1518	らさと給食せ)地産地消等	を活用した	魅力ある給食	●の提供を写	実施し	た。リ
	_	0303	クエスト給食を実施す	するなど、児童生徒	の嗜好を考	信慮した南	太立作成を心	ハがけ、残菜	量の軽減に	も取り組んだ	だ。 さらに、	各校	で食指
			導を行い、環境面や								**************************************		//. //
年		0304	市内の小中学校で給す食関係職員が定期的										後も給
4													7年中
		0305	地元農家をはじめ、別的に使用することが										
			産食材の積極的な活用	用を目指す。									
		0301	単独調理場は八幡野児	小だけとなった。令	和5年度力	ら幼稚園	給食も始ま	り、八幡野	小で調理し	た給食を運掘	般している。	学校	給食セ
度			ンターや共同調理場。校給食センターについ						に字校給食	を提供する。	また、共同	可調性	」場、字
		0302	学校給食の衛生管理					-	握して安小	安全な給食を	を提供できる	るよう	、衛生
			意識の向上に努めた。	, , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				,					
		0303	献立については共通的										
評	R 5		力ある給食の提供をいり組んだが、調査時期						考慮した献	立作成を心だ	かけ、残菜園	量の軽	減に取
οŦ		0304	給食時間にはICTを記						年間指導計画	画に沿った計	+画的な食指	導を	実施し
			た。今後も給食関係										
		0005	<u>たい。</u> 地元で生産された野勢	並の種類や量には限	見があり	市内産の	食材の活用	家は低いま	まとなって	いろ 学校組	会食田に角の	DtπN	身を提
		0305	供していた漁協から	の購入がほとんどな	い状態であ	るが、気	後も「地産	地消推進事	業」の活用	により、使用	用回数・使用	りのり 用量・	野菜の
価			種類を増加できるよう										
		0301	単独調理場は八幡野りとなっている。他施										
			共同調理場、学校給1									J±J/+	子似の
		0303	学校給食の衛生管理									前を筆	定する
		0002	子校和長の衛王官珪								人以合司四	回る水	EVE A O
		0303	物価高騰の中、市内	共通献立の作成や各	施設・設備	、人員を	き慮して調	整を図るな	ど、地産地	消に向けた南			
	R		るさと給食の提供、別									き慮し	た献立
	6		作成を心がけ、残菜									^^-	20++
		0304	食育年間指導計画に流心に食育活動を行い、										
			で、関係には、	1日+XX1天290C	こになり、	及日/口里	い、1月金07	メるる性性	ことり、元	主工作. / 戊//		₩I-J_T	. 2 (3) (8)
		0005	伊東市内の野菜・くだ	だものや魚類の生産	量、漁獲量	置には限界	があり、市	可産の食材	の活用率は	増加傾向が見	見られない。	伊東	港で水
		0305	揚げされた魚の切り	身を提供していた漁	協から購入	、できない	\状態である	が、今後も	「地産地消	推進事業」(の活用により	2、使	用回
			数・使用量・野菜の種	性親を追加 じさるよ	、ノ、多刀围	」に関さん	11) acc (アス圧艮材	、宗內座良	でいる。	み 泊用を目が	⊟9.	

				-m -t-+		指標数		5		5	ļ	5		5	5	1	
(Э4		端のICT教育:	環境整備の充	達成状況	達成数		5		3		3		3	0		
	·	実			X17747700	達成率		<u>)</u> 0.0%		0.0%		.0%	60	D.0%	0.0%		
			 主な内容	管理指標	基準値	72.57		33		34		35		R6	R7	単位	担当課
			生徒及び教職員1	教員1人当たりの	R1	目標値		1		1		1		1	1		3
	O4		台端末環境の維持	指導者用コン		実績値		1.03		1.05		1.07		1.07	·	台	教育総
	ľ	拉力 拉力		ピュータ数	0.40台	評価	0						0	達成		1	務課
					R1	目標値		100	,	100	,	100		100	100		
	O4		ILAN (無線LA	整備済学校の割合		実績値		100		100		100		100		%	教育総
	Ĭ	. (N	環境の維持拡充	III	0%		0		0 :		0 ;		0	達成			務課
		大 开	提示装置の小中学		R1	目標値		60.0	,	70.0		90.0	_	100	100		
	O4)全普通教室•特別	整備済教室の割合		実績値		64.7		62.0		69.0		69.0		%	教育総
	ľ		整備	正师小八八二〇	35.2%		0			·達成			X			以上	務課
		宝竹			R1	目標値		36.0		50.0		70.0		90.0	100		
	Ω4		特別教室整備(小	整備済教室の割合		実績値		40.4		36.6		43.6		43.6		- %	教育総
	ľ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		正师小八八二〇	35.2%	評価		<u>- i i i i</u> 達成		€達成			× :	未達成		以上	務課
				児童生徒1人当た	R1	目標値		1	/\ /	1	// //	1	/\ .	1	1	<u> ДТ</u>	
	0		タル教材を活用で	りの教育用コン		実績値		1.03		1.07		1.11		1.14	<u>'</u>	台	教育総
	ľ	100 BS	5環境の整備	ピュータ数	0.16台	評価	0		0 3				0	達成		以上	務課
		0401 5	う和3年度の児童生行	走数3.761 人に対し	, 端末3.8						-	Œ1%		在1%		W.T.	
			無線LAN機器による														
	R		和3年度中に新たる										部生	宇川教室	に大型提示	生置6	38台を
	3		を備したことにより		I/M CC/0/3	, 5,0,0	1 12	T/X/C	1 3 12		27/1	///	ויים	0.7254VT			
			う和3年度中に新たる		できなかっ	たがき	力字数	の減少	ルニより	り日煙	を達ら	サできた	=				
			3和3年度の児童生行									W C C /					
			3和4年度の教職員								,,c ₀						
			無線LAN機器による								図った						
			和4年度中に新たる										=	また を	E度ごとで何	⇒田Ⅰ.	ている
_	R		数室数が異なり、令													2/13 0	2010
4	4		記和4年度中に新たる													トド畝	1,整備
			教室の割合が減少								V 1 CD 3.	х — ж.	, , , ,		3,100,100,00		
			3和4年度の児童生行							整備し,	<i>t</i> = .						
			3和5年度の教職員数								/Co						
度		04011		XZO17(にA3 O、 如iii	жоооп		FIXIN	<i>)</i> 2±	IIII О /	C 0							
		0402 #	無線LAN機器による	ネットワーク陪宝カ	が生じたい。	上ろ校内は	無線」	\NI語	音の納	# 技友区	別った						
		U+UZ 7	MANUAL MINER ICO. O	トラーラ ク呼らり	10/8/10	ハンスパリア	WINKE.	, 11 NTX1	シロマンバビ	717 65	عا لا تد	0					
	R	0403 5	合和5年度中に新たる	な大型提示装置け敷	備できなか	いった く	↑和5	年度が	53	校統合	I LV) 教室	字数	は減小口	iteta s	主結値	は上昇
評	5		」た。引き続き 、 学										ᆮᄍ	10/19/2	JICICUJ, S		IGLA
			う和5年度中に新たる										知け	に成け 、 し、た	こため 宝紅	書値け	上見し
			ここの										XIO.	11949 011		見には	LHU
			3和5年度の児童生行														
価		0405 1	」作し十及りル里工!		八 如山/八〇, 1	0+0 (טיירו כ	7+12/	K) C	. IE IM C	// C o						
ш		0401 \$	う和6年度の教職員数	か283 / に対し、 能	±2024	(全和6年	F (F))を敕	(借 L .t	=							
		04011	」作品の十次の教職具を	えとしつへに対し、姉	/KUUZ 🗖	HOUNT	一又不	/ 乙並	im U/	Co.							
		0402 #	無線LAN機器による	ネットワーク陪実力	が生じたい	上う校内4	無約	VVII⊞+	音の始	# 持たい	別った						
		0402 #	三人 一点 できょう	トノーノ 一ノ呼音ル	エレルバ	ス フゴメドリナ	TYNY	一	えくノボ	112.G 5	שול ע	0					
	_	0402 4	う和6年度中に新たる	で大型提示法器件数の	苗できたか	ったっ	き続:	李	松相地	是1.5 番色	退を歴	2章双 1 。	באוו	更に応い	て大刑担ニ	、	の敕牒
	R 6		を進めていく。	メハエル小衣回は笠	用くこなり	ارد، حارد		C, J	スルル	勿に女王	用いま		צישג	الاستراكا لح	/ C八土1旬ル	マロ!	
			記念のでいる。	で宝物投影機け敷供	できたかっ	t 21=	を続き	学坛	祖神	二亜均	を確認	烈 , 川	УŒ	[_ m\ L\]	宇物也學は	継の 東	備を准
			られていく。	0大7/01又が成は産佣	CC'011, >	ارد، عاد	ے نامان ک	、 」 1X	小儿加川	レ女主	ت⊞ات	ы 🔾 , ц	יציני		大小灯又形作	ぬ♥ノ <u>☆</u>	開己に

0405 令和6年度の児童生徒数3,266人に対し、端末3,723台(令和6年度末)を整備した。

担当課	教育指導課			施策4-20	の全指標達成	艾 率	
政策目標 4	心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 2	未来を創る教育の充実(小・中学校)	指標数	20	22	22	23	23
月指す姿	児童・生徒が夢や希望を抱くことができる	達成数	8	9	9	7	0
日担り女	子どもたちが夢や希望を育むことのできる魅力ある学校	達成率	40.0%	40.9%	40.9%	30.4%	0.0%

			指標数	2	2	2	2	2	1	
1 1	成果指標(KPI)		達成数	1	1	1	1	0		
			達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
+ E	学校が楽しいと思う子どもの割合	基準値		R3	R4	R5	R6		単位	担当課
成果 指標		R2	目標値	90.2	-	92.7	94.0	95.0	%	教育指
1		89.1%	実績値	88.1	87.2	88.8				導課
					× 未達成				以上	
目標の	小学校では、今和元年度実績88.6%。	の割合。 合和2年度		1.1%と各年	≢度0.5ポ~	イントの上	昇幅にとと		るが、	各年
成果	学校が楽しいと思う子どもの割合	基準値		R3	R4	R5	R6		単位	担当課
指標		R2	目標値	86.0				90.0	% =	教育指
2	() (<u>)</u> (<u></u>	85.7%	実績値	88.3			90.5			導課
			評価			-	〇 達成	F 45 # 40 V	以上	
の	生徒を対象とした学校評価(学校生活ア る」「まあ当てはまる」と回答した生徒 中学校では。令和元年度実績83.6%、 5 年度の上昇率が大きかったことや生徒の とした。	の割合。 合和2年度 主観による	実績85 るところ	.7%を参う が大きい。	きとし、各 ことを考慮	年度2%上 し、上昇幅	:昇を見込る 国を抑え各名	年度1ポイ	が、行 ント和	含和2 程度
	1(実績評価)・令和2年度と比較し、1ボ					で制約のある	る学校生活な	が継続してい	ること	こによ
	り、ストレスや不安を感じて									
R	(次年度修正点)・令和3年度の評価が88.19	%であったこ	ことから、	令和4年	度は目標値を	上回ること	かできるよ	う努めたい。	•	
3 年	2(実績評価)・令和2年度と比較し、2ボ	・ノン・トレー	同マ姓氏	リトちっち	コロナ カ	出かればれば	はいアハマ+	-	71 L	- 1
度	2 (美 頼 評 画) * もれと中皮と比較し、とか や C T を活用した授業の実									
	(次年度修正点)・令和3年度の実績値を参考									
	1(実 績 評 価)・令和3年度に比べ0.9ポイ 等によるストレスや不安を感						E活や学校の)統廃合など	環境の	変化
R 4	(次年度修正点) ・ 令和3年度が88.1%であっ	たことから	5、令和5	年度はそれ	を上回るこ	とができる。	ように努めた	三し1。		
年度	2 (実績評価)・令和3年度よりも0.1ポイン 工夫等により引き続き学びの						した授業を	実施したこと	こや、彳	う事の
	(次年度修正点)・令和4年度の実績値を参考	にして、令	和5年度の	の目標値を	上回ることだ	ができるよう	に努めたい	0		
	1 (実 績 評 価) ・令和4年度に比べ1.6ポイン り、充実したことが数値の向				ナ禍前の日常	生活に戻っ	たことや学	校行事等の	制約も	なくな
R 5	(次年度修正点)・令和2年度が89.1%であ	ったことか	ら、令和	6年度はそ	れを上回る	ことができる	るように努め	たい。		
年度	2 (実 績 評 価) ・ 令和4年度よりも0.7ポイ 事の充実等により引き続き学						した授業が	充実してき	たこと	や、行
	(次年度修正点) ・ 令和5年度の実績値を参考	にして、令	和6年度	の目標値を	上回ること	ができるよっ	うに努めたい	,) °		
	1(実 績 評 価)・令和5年度よりも微減とな 活のあり方について検討推進				く、引き続き	き学ぶ楽しさ	さを育む授業	作りの推進	や、学	校生
R 6	(次年度修正点)・90%を超えていない現状が	から、さらに	こ目標値に	こ迫る手立っ	てを推進して	こいきたい。				
年度	2 (実績評価)・1.4ポイント増加し、90% の成果が出始めていると考え		ことができ	きた。体験型	≝の授業作り	の推進や、	自己指導能力	力を育む生徒	走指導の	の実践
	(次年度修正点)・さらに達成率を高められる	ように、具	体的な手	立てを推進	していきた	l1.				

							指標数	18	20	20	21	21		本的な取
2	2	基本的な	取組(2桁コード)	主な内容(4桁=	コード)		達成数	7	8	8	6	0		・主な内 の達成状
							達成率	38.9%	40.0%	40.0%	28.6%	0.0%	況	
				15			指標数	6	6	6	6	6		
	01		ざびに向かうカ」(の育成	達成状況	況	達成数	1	3	1	1	0		
			> + 1 +	http://www.iar			達成率	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	>>/ / I	LE MEET
			主な内容	管理指標	基準値			R3	R4	R5	R6	R7		担当課
				全国学力学習状況調査(小6・中	R2	小		99.5	100.1	100.7	101.4	102.0	ポイント	教育指
				3)で国語・算数	98.9 ポイント	学校	実績値評価	96.7	99.0	92.5 × 未達成	95.3 × 未達成		以上	導課
	0	101 確	かな学力の向上	(数学)の平均ポ	R2		目標値	103.1	103.6	104.0	× 未達成 104.5	105.0		
				イント(全国平均			実績値	103.1	98.8	99.3	104.3	103,0	ポイント	教育指
				を100とした場合)	102.8 ポイント	校				× 未達成			以上	導課
	Н				R2	//\	01 100	64.5	65.0	65.5	66.0	66.5		
				「外国人や外国の				63.7	65.7	65.1	66.6	00.0	%	教育指
				文化に興味を持	64.0%	学校	評価	× 未達成	〇 達成	× 未達成	-		以上	導課
	10	102 外	国語教育の充実	ち、積極的に接し ている」児童生徒	R2	ф	目標値	55	60.0	60,5	61.0	61.5	0/	
				の割合	E0.09/	学	実績値	54.5	53.7	53.3	53.8		%	教育指導課
				9936	52.6%	校	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	等味
					R2		目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	#h 2 5+15
					90.1%	学	実績値	90.7	91.2	91.7	90.8		/0	教育指導課
		103 IC	T機器の効果的な活	「授業の内容がよ くわかる」と答え		校	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	× 未達成		以上	一
	ľ	103 用		た児童生徒の割合	R2	中		85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	%	教育指
					850%	学校	実績値	82.6	86,6	86.2	86.4			導課
										× 未達成			以上	
		0101	小中学校ともに目標の									業で文章を記	売み解	く機会
		0100	を設けるなど、応用ない中学校ともに目標値									当ただの出5	<u> </u>	アノレノー名由
	R 3	0102	れたりしている。今後											
		0103	タブレット端末が導え											
		0100	的な方法は市内の全等			_				700 7 121011		5 1 05/0/15	_ ~= ~>	7,321
		0101	基礎的な学力についる	ては身に付いていた	。応用的	りな	思考力だ	が必要な問題	を解くこと	に課題があ	るので、普里	役の授業の口	Pで 思	考力を
			問うような課題を解決	としていく機会を設	けていく	(.								
_	R		総合的な学習や英語の			とに	触れたり)、外国を学	んだりする	ことができ	た。今後はま	デジタル教科	オ書や	ALT
4	4		を効果的に活用した抗			= ^	0+++-	310 +1411 7		+ ^///-	Ø+÷-₹ / €		- V#- v.t	
		0103	タブレット端末が導入 的な方法は市内の全勢			_				に。ラ後も、	、各役で1	ジーの活用を	き進め)、
度	⊨	0101	実生活に基づいた応用							おり 単純:	た問題よりま	に応田的た問	見頭に	対して
		0101									な回感のグ	יואיניםנדושיוט	عا احتارات	2006
≣π	課題がある。普段の授業の中で思考力を問うような課題を解決していく機会を設けていく。 R 0102 英語の授業を通して、ALTの活用を通して、他国の文化に触れたり、外国を学んだりしている。今後は、総合的な学習の時間など													
То	5 を効果的に活用し、外国の文化に触れられるような授業実践を進めていく。													
		0103	タブレット端末が導え											を進
佃	i		め、効果的な方法は下											
		0101	小・中学校ともに目標		-							受業で文章を	き読み	解く機
		0400	会を設けるなど、応用									ΦΩ±88± 13:	- ++ =	3651-27
	R 6		ALTの活用を通して、 用し、外国の文化に制				_		EW (いる。	ラ後は、総	ご的化学習(い時间など	と効果	送りに活
			タブレット端末が導え						ち帰りを進	めていス :	今後丰 冬t	立で1010	り活圧	を准
		0103	め、効果的な方法はで										ノルロハ	ことに
							3//2							

		、「人として備えたい	力 () 閂		指標数	3	3	3	3	3	3		
(2	, 「人こして備えたい <i>)</i> ・ 性)」の育成		達成状況	達成数	3		1	1	0	0		
		正/ J 0/月/8/			達成率	100		33.3%	33.3%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R	3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			「近所の人や知り	R2	目標値	8	87.0	88.0	89.0	90,0	91.0	%	
		201 社会性や規範意識の定	合いの人にあいさ		実績値	9	87.1	87.1	88.4	89.1		/0	教育指
	02	きょう 着(あいさつの奨励)	つをしている」児 童生徒の割合	86.0%	評価	O ì	達成	× 未達成	× 未達成			以上	導課
		ウンチウボカラルブロ	「友だちのことを	R2	目標値	,	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	%	
		自己肯定感を高めて思202 いやりの心の醸成(道	思いやり行動する		実績値	Ç	93.1	92.8	93.7	92.4		/0	教育指
		徳教育の充実)	ことができる」児 童生徒の割合	91.0%	評価	O i	達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	導課
			「自分の思いや考	R2	目標値		79.5	80.0	80.5	81.0	81.5	%	
	小中学校の各段階にお えを回りの人に伝 実績値 79.9 80.9 81.0 79.4 79.9 79.9 79.4 79.9 79.										教育指		
												導課	
度	3 R4	O201 継続した指導により、 れるが、地域や家庭と O202 道徳の教科化に伴い、 の充実とともに、各身 の203 学び手の視点で構想し 業改善を一層進め、こ 0201 目標値は下回ったもの 高めていく。 O202 目標値は下回ったもの 重する態度を育成して 0203 学び手の視点で構想し 業改善を一層進め、こ 0201 目標値は下回ったもの さつ運動の工夫や推進 0202 目標値は下回ったもの。 O201 目標値は下回ったもの。 O201 目標値は下回ったもの。 O201 目標値は下回ったもの。 O201 目標値は下回ったもの。 O202 目標値は下回ったもの。	との連携を工夫し、 考え議論する授業 教科で人権意識を高 した授業の実施や「 これからの社会に求 かの比較的あいさつ かの相手を思いやる ていく。 した授業の実施や「 これかの和4年度より もなっている。	ー層の定着 や適切な評 める授業を のいるがである。 に対する。 気持ちは でかられる。 気持ちは でかられるである。 のいるである。 に対する。 に対したが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 に	を図って 「他の実施 に実践し、 に実より、 に関能力の に関いる に関いる に関いる に関いる により、 により、 にはいる にはい にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはい にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはい にはい にはい にはい にはい にはい にはい にはい	にく。はでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 で、 は、	の等自図校 も 自図全いので 道 立って	供の自己肯する態度を の基盤となっていく。 あいさつ運 徳授業や各 の基盤となっていく。 であるとなっていく。 本的に比較的	定感が高ま育成している能力や態動の工夫や教科で人権る能力や態めあいさつに	ってきている く。 度が育成され 推進をし、る 意識を高める 度が育成され	る。今後は、 れてきている あいさつにする授業を実施 れてきている は高い。各	道徳る。今は、日本のでは、日本には、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、	であい
価	5	徳授業や各教科で人村 0203 学び手の視点で構想し び手の視点を意識した	産意識を高める授業 √た授業の実施やⅠ	を実践しE CTの活用	他を尊重により、	社会的	態度を 的自立	:育成し(い [の基盤とな	く。 :る能力や態	度が育成され			
		O2O1 目標値は下回ったもの い。地域や家庭との近 O2O2 各学校行事などを通し 自他を尊重する態度を	連携を工夫し、一層 して、人権意識を高	の定着を図]っていく	•							
		O2O3 目標値は下回ったものを意識した授業改善を								れてきている	る。今後も	学び手	の視点

03 「命を守る力」の育成 指標数 2 2 2 3 3 達成状況 達成数 1 1 0 1 0													
()3	「命を守る力」の育り	成	達成状況	達成数		•	·	•	_			
					達成率	50.0%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		危険を未然に回避する	地域防災訓練に参		目標値	_	_	_	_	_	%	教育指	
	03	301 力や緊急時の対応力の	加した生徒の割合	_	実績値	_	_	_		_	, ,	導課	
		育成		% 1	評価	_	_	_		-			
	00	200 健康的な生活習慣の定	「規則正しい生活」ができている。日	R2	目標値	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	%	教育指	
	O:	302 權康的公主沿省傾仍定	ができている」児 童牛徒の割合	80.4%	実績値	81.6	79.0	79.3	80.6			導課	
				D4	評価	〇 達成		× 未達成		77.5	以上		
			新体力テスト(8 種目)の結果が、	R1	目標値実績値	75.5 63.0	76.0 79.0	76.5 68.8	77.0 68.8	77.5	%	教育指	
	03	303 運動能力の向上	県平均以上である	75.0%	夫領胆	63.0						教育指 導課	
			種目の割合	13.0%	評価	× 未達成	〇 達成	× 未達成	× 未達成		以上	φıκ	
		危険を未然に回避する	 小・中学校におけ		目標値	_	_	_	3	3	- 0		
O3O4 力や緊急時の対応力の る防災訓練の実施 実績値 - - 3										教育指導課			
一												300	
				W/2 7 1345	الكراب								
	R 3	O3O2 新しい生活様式が定義 供を進め、一層の定義		正しい生活	の重要性	生が認識され	てきている	。今後も家庭	庭との連携 [*]	ゆ健康に関す	する情	報の提	
	J	0303 小学生の持久力や俊智	敢性が県平均に劣る					の授業をは	じめ学校生活	舌の中で体を	を動か	す機会	
		を設けて運動をする。					-	らわたため	全和 4 年	安日堙估计	Г— і	. اط	
		令和4年度に調査した	た結果を基に令和5	年度から令	和7年度	その目標値を	設定する。						
年		0302 新しい生活様式が定義 層の定着を図っている	1 1	正しい生活	が認識さ	されてきた。	今後も家庭	との連携や	建康に関する	る情報の提信	共を進	め、一	
		0303 引き続き、運動に興	味を持ち、好きにな	れるような	取組を体	育の授業の	中に取り入	れていく。					
度		O3O1 地域防災訓練が令和:	5年度より日曜日宝	施となった	ことによ	い、生徒へ	の参加の促	しをしなく	なったこと	の参加者のは	円握力	できな	
		くなったため、実績	直を「一」とした。	そのため、	管理指標	票0301を	廃止し、新	たに管理指	標0304	を設定した。			
評	R 5	0302 令和4年度に比べ0.3 情報の提供を進め、-			生活がで	きている児童	量生徒は増え	えている。今	後も家庭と	の連携や健	康に関	関する	
Ŧ		0303 中学校はほとんどの	重目で全国平均を上	回るが、月						は、現在の国	収組を	継続	
価		し、小学校では、運動 0302 80%を超えたものの								オンの使い	方のは	岩道等	
		も含め、継続的に指導	尊していく必要があ	る。									
	R 6	0303 小学生は俊敏性が、「 授業の中に多く取り」								れるようなI	収組を	体育の	
		O3O4 各小・中学校で年間に 校独自に「津波」「1	こ実施された防災訓	練は3回と	なり達成	した。内容	については	「地震」「ソ	火災」を中心	いに、立地環	境を	基に学し	
		※1 新型コロナウイルス感											

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度及び令和3年度の地域防災訓練は未実施となった。地域防災訓練が令和5年度より日曜日実施となったことにより、生徒への参加の促しをしなくなったことや参加者の把握ができなくなったため、管理指標0301を廃止し、新たに管理指標0304を設定した。

	\sim	1	=	\# (* 14)	指標		5		6		6		6	6		
)4	4 教育的支援体制の充実	夫	達成状況	兄 達原 達原		20.0%		2 33.3%	-	3 50.0%	-	2 33.3%	0.0%		
		 主な内容	管理指標	基準値		以 华	20.0% R3		R4	١	R5		R6	0.0% R7	畄位	担当課
		T,公1.3.D	教育的支援が必要	82 R2	目標	票値	8.0		8.0		8.0		8.0	8.0		
	0	401 支援員の適正な配置	な児童生徒に対す		宝丝	責値	10.2		11.6		10.5		10.9	0.0	%	教育指
	_		る支援員の割合	7.9%	評		〇 達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	導課
			特別支援教育に関する	R3	目標	票値	_		95.0		95.0		95.0	95.0	%	
	L		研修会を通じて特別支	100%	実績	責値	100.0		100.0		100.0		100.0		70	教育指
	O.	402 教職員の研修強化	援教育への知識や理解 が深まったと感じた参 加者の割合	% 2	評	価	_	0	達成	0	達成	0	達成		以上	導課
			市就学支援委員会	7.9	目標		66.0		66.5		67.0		67.5	68.0	%	
	0	403 校内及び市就学支援員	の判定に基づき、	05.40	実績	責値	63,0		62.7		68.9		66.7		/0	教育指
ı		会の充実	適正に就学した児 童生徒の割合	65.1%	部	価	× 未達成	X	未達成	0	達成	X	未達成		以上	導課
	H		いじめはどんな理	R2	日梅	票値	97.0		98.0		99.0		100	100		
		404 11114 ++*** 0+***	由があってもいけ		実績		96.0		95.9		97.2		96.7	100	%	教育指
	U.	404 いじめ対策の推進	ないことだと思う	96.0%	4						-				15.1.1	導課
I			児童生徒の割合		評		× 未達成	X		×		X	未達成		以上	
					小 目標		1.57		1.52		1.47		1.42	1.37	%	教育指
				1.62%	学 実績校 評	責値	2.43		2.69		4.78		4.91			導課
	0	405 不登校対策の推進	不登校児童生徒の 出現率		01	Ш	× 未達成	X		X	未達成	X	未達成	E 01	以下	
					中目標学実統		5.21 6.75		5.16 7.06		5.11 7.19		5.06 8.63	5.01	%	教育指
				5.26%	学 実績校 評		× 未達成	×		×		×			以下	導課
		0401 目標値は上回ったもの	L Dの、今後も更なる											/\< ₀	W 1	
		O4O2 R3は目標値の設定が													努める	3 。
	L	0403 園、学校が市で雇用し	している特別支援教	育アドバ	バイザー	-訪問	の活用をし	た	り、特別	支持	受校職!	員0)巡回相	談を利用した	こりし	なが
	R	ら、保護者との面談で						+107.4	# ^ + - - - - -	hh 1-	10		10++	0 1 45 ctt 245 d		
	3	O4O4 目標値を下回ったもの 学校全体でいじめを記						(技)	集の允美	寺に	_より、	J 1;	もいにり	刀人惟思見る	と一層	高の、
		0405 不登校児童生徒の出現						オデリ	ナででき	るだ	とも限	5×	1るので.	来年度以際	条け福	計や外
		部機関と学校との連携	隽を深めることで出	現率の悪	化に歯	止め	をかけてい	き	たい。							
		0401 目標値を達成するこ	とができたが、特別	な支援を	必要と	して	いる児童生	徒(は増加傾	向に	こあるた	め、	今後も	丁寧に実態	問査を	行い、
		指導の充実を図ってい	/\<.	+== ++=+=	-+117 CD 777	- 	+ 2 - 1 + TT	r 1.4-r .	へ <i>ナ</i>		5#-1#	+		L+ Ou + + = # + 7	-	
		0402 特別支援教育コーディ								و ا	に した。	。	以職員の治		育八 ())	関心は
_	R	高く、研修の必要性で 0403 市就学支援委員会で	と天窓しているに図 客議する件数は増加	<u>、フをし</u> 傾向にあ	<u>が </u>	<u> </u>	<u>そ図りしい</u> : 市特別も	摇	ァ アドバイ	#-	- の巡回:	相影	松等を効果	里的に活用し	, 谚	正な判
*	4	定につなげていく。		رهاعاتوابها	, G° ,		V 1619/32	. 1/20.	, , , , ,		تاسره	100	K (1 C ///)) <u> </u>	211.00 15
		O4O4 目標値は下回ったもの								覚を	を高める	ため	りにも道行	恋教育の充実	実等を	図って
		いく。学校全体でいり											-1.1.1.1.	1.20 1.0124.3		
		O4O5 不登校出現率は昨年原 新規の不登校児童生徒						.唱(は小さく	な :	っている。	، ر	これ以上は	出規率が増え	えない	よっ、
度	-	0401 目標値は上回ったもの						举	経内容や	雇日	日形能等	なが	字して	ハく また	支挥	昌のマ
		キルアップのための			ارره عاد	בי אנ	راد مارد الدار	*	۵ ۵ د الدا	, EE /	יייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	رانا ت		,	人」及	
		O402 市内における特別なう	支援を必要とする児	童生徒は		加修	向にある。	教	職員の特	別习	支援教育·	<u>\0</u>)関心はi	高く、研修の	り必要	性を実
		感しているため、今後	後も研修の充実を図	っていく	· · ·	- 			1 4+0		v → 1× · · ·	, .	£ \C\+-	5 *** ** // // // * ·	/-	
哥平	R	0403 就学支援を必要とする 滑な就学支援につなり		めり、遠	10 • 校)	.XJ	し、特別	文技	長アドバ	1 <u>†</u>	ノー派遣	事業を継続し	ノ(汀	い、円
	5	0404 昨年度と同様に、目標		の子供た	ちのい	11",xt	に対する音	部(さ高い	7位	±たちの	人村	手感覚を	喜めるため!	- 丰.道	徳教育
		の充実等を図っている											±心元こ			בואנישוו
		0405 昨年度と同様に、不登	登校出現率は前年度	より増加	してい	るか	、全国や県	<u></u>	増加率よ	りは	増え幅は	الاح	さくなって	ている。これ	ル以上	出現率
佃		が増えないよう、新規	見の不登校児童生徒	が出ない	ように	初期	の対応を大	切	こしてい	<.						
,		0401 目標値を達成できた。	しかし、特別な支	援を必要	として	いる	児童生徒は	増	か傾向に	ある	るため、	今後	後も丁寧	こ実態調査を	を行い	、指導
		の充実を図っていく。						_								
		0402 特別な支援を必要と	する児童生徒の数は	増加する	一方で	ある	。通常学級	での	担任が特	別3	支援教育	に係	る知識技	技能を身に付	すけら	れるよ
		うに、さらに研修を残	充実させていきたい	0												
	R			向にある	。園内	• 校	で内の就学支	援	こ対し、	特別	川支援ア	ドノ	バイザー	派遣事業を終	迷続し	て行
	6	い、円滑な就学支援は														
		0404 目標値は下回ったもの								学絲	及でしっこ	かり	注意して	ていくことだ	が大切	であ
		る。学校全体でいじる)T -	5 + 7 TM	LT	ホルニマ・	- L 5V.1		7 -
		O4O5 昨年度と同様に、不該 に促していきたい。	立仪出境率は則年度	より増加	10 (1)	10.	児里生使刀	'女	いして王	活(でる域	見る	せ発える	ここで、登刊	父でさ	のよう

に促していきたい。 ※2 令和3年度から新たに調査したため、令和3年度に実施する調査の実績値を基準値とした。

	指標数 2 3 3 3												
(05	地域社会との連携推	進	達成状況	達成数	1	1	3	2	0	1		
			_		達成率	50.0%	33.3%	100.0%	66.7%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
			本市のことが好き	R3	目標値	_	89.2	89.5	89.7	90.0	%	並たご +ビ	
	05	5O1 郷土愛の醸成	と答えた児童生徒	89.0%	実績値	89.0	89.0	90.9	88.7		/0	教育指導課	
			の割合	% 3	評価	_	× 未達成	〇 達成	× 未達成		以上	-3 ω×	
			地域で行われる活	R2	目標値	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	%		
	05	502 地域活動への積極的な	動に積極的に参加	/	実績値	58.0	59.9	65.5	65.8		/0	教育指	
		参加	している児童生徒 の割合	60.5%	評価	× 未達成	× 未達成	〇 達成	〇 達成		以上	導課	
			地域の広報誌や掲	R2	目標値	85.0	90.0	95.0	100	100	%		
	0	503 学校運営に関する情報	示板、公共施設等		実績値	100	100	100	100		%	教育指	
	Ü	発信	で情報発信している学校の割合	80.0%	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	導課	
	R3												
	R	0501 生活科や社会科などの 階に応じた地域学習 0502 新型コロナウイルス!	を実施するだけでな	く、地域人	、材の活用	を進めてい	\<.						
年		されてしまった。今後									المرادات المرادات	TOPKAL	
		0503 学校だよりを通じて、 もと、令和5年度も			110 11017 010		できた。地	域総がかり	で子どもを育	育てていくる	こいう	理念の	
度		0501 令和4年度よりも1.9					前学羽を涌1	ア マ州 た	たけ伊宙市	の特徴が出	批批	トの造	
		いを知り、良さや愛											
評	R 5		る地域が増えたこと	で、児童・	生徒の地								
価		0503 学校だよりや学校HF 信を大切にしていき	を通じて、各校の教			に情報発信	することが	できた。令和]6年度も継	送続して地域	への	青報発	
ш		0501 令和5年度よりも2.2ポイント減少した。総合的な学習や、地域と連携した学習活動を通して、さらなる地域への思いを醸成していく取組を推進していきたい。											
	R 6	0502 目標値を達成した。 ちくことが必要である。		いく現状で	であるが、	学校が地域	はと共に子ど	もたちを育っ	てていけるE	環境づくりる	を推進	してい	
		0503 学校だよりやホーム	ページ等を通じて、	開かれた学	校教育を	さらに実践	していく。						

※3 令和3年度から新たに調査したため、令和3年度に実施する調査の実績値を基準値とした。

担当課	生涯学習課			施策4-30	の全指標達成	戊率	
政策目標 4	心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 3	施策分野 3 生涯学習活動の推進		11	11	11	11	11
目指す姿	市民が生涯にわたる学びや活動に参加し、豊かさ	達成数	2	2	2	2	0
日担分女	を享受できる	達成率	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	0.0%

1	成果指標(KPI)		旨標数 達成数	2	2	2	2	2						
• •	22/23/23/23/23/23/23/23/23/23/23/23/23/2		主成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
b 5	* 「生涯学習活動の推進」に満足し	基準値		R3	R4	R5	R6		単位	担当課				
成果 指標		R2 E	3標値	75.3	75.9	76.6	77.2	78.0	%	H 1E 24				
78 TS	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	74.7%	実績値	72.8	69.4	61.4	61.3		/0	生涯学習課				
•		ē.							以上					
目標の考え	可能となるため。	、市民の中から	ら無作	為に抽出る	された広範	囲の皆様の)意見や評価	価を把握す	るこ	とが				
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
成果 指標	+	R1 E	目標値	2.88	2.92	2.95	3,28	3.76	m	生涯学				
1818		2.81冊	実績値	2.70	2.57	2.50	1.89		ווט	主涯子 習課				
					× 未達成				以上					
	総貸出数を新図書館の開館に向けた令													
目標	7年度は30,000冊増やすことを目標													
の	7													
考え														
	え方 ○○○八 : ○○八 : ○ : 2.○○													
	 1 (実績評価)・新型コロナウイルス感染	症拡大の状況か	ら. 各	種講座等に	ついて由止	けざるを得れ	いけに対す	*生したこと	七字	響した				
	ものと考えている。													
R 3	(次年度修正点)・withコロナを踏まえ、感 れるよう努める。	染対策を的確に	実施し	、事業をで	きる限り展	開すること	で、市民の	当様の満足り	度向上	が図ら				
年	2(実 績 評 価)・新型コロナウイルス感染	症拡大の状況か	ら、来	館者数が減	少したこと	も影響した。	ものと考えて	ている。						
度		ナルサナス 武治	++44	45T#1	. + +*>	-10 <i>5</i> 2	+	~+-> L-+		→ 1 - 2 7				
	(次年度修正点)・新型コロナウイルス感染める。	圧に刈りる感染	対束を	的催に実施	しなから、	より多くの「	や氏が利用・	ごさるよう属	或 書 愽/	以に努				
	1 (実 績 評 価)・新型コロナウイルス感染	売坊大に伴い	冬 種謙	応等への参	カロが高力と	たことが影響	撃したものと	- 孝ラでいる	۲					
			□1±0 15 /	±4 (0)9	13013 1194 9 01		■ 0/C 00/C	- 3/1 () 16	00					
R 4	(次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染 種講座の実施に努める。	症の取り扱いが	(5類へ)	と移行する	のを踏まえ、	・市民の皆村	様の満足度	り上につなた	がるよ [、]	うな各				
年	2 (実 績 評 価)・新型コロナウイルス感染	症拡大の状況か	ら、来	館者数が減	少したこと	も影響した。	と考えている	3 .						
度		ハナノナフトニ	/- A T		*************	- 	+	+ /+ 7	+ 1					
	(次年度修正点)・より多くの市民が手に取 運営に努める。	りたくなるよう	に任画	展示など配	栄に上大を	し、多くの「	中氏が利用し	ノにくなるよ	こつなし	凶書館				
	1(実 績 評 価)・コロナ禍で休止及び解散	した団体が多く	, DO	ナ前に比べ	、活動団体	が減っている	ることが原因	引と考えてい	る。					
R	(次年度修正点)・市民が団体を検索しやす	く、また参加し	やすい	情報提供を	心掛け、市	民満足度の「	句上が図れる	るよう努める	3.					
5年	2(実績評価)・来館者数は増加している	が、貸出冊数の	増加に	まで結びつ	いていない	ことが考えて	ている。							
度		, Amin'd	7830IC		V 1 C V 1/6 V 1	CC3 5/L								
	(次年度修正点)・今後も、企画展示など配	架に工夫をし、	より多	くの市民が	手に取り、	読みたいと	感じるような	2図書館運営	営に努る	める。				
	1 (実績評価)・市民ニーズの高い事業をいるが、目標に達していな	実施できるよう	毎年内で	容を見直し知が一定の	ており、情	報発信につい か伝わってい	ハても、積析 ハない可能性	極的にSNS等があるとき	等を活	用して				
	た、施設の老朽化による故									, 0,				
R 6 年	(次年度修正点)・より多くの方に情報が行 については、計画的な修繕						実施していく	く。また、旅	語設の	老朽化				
度	2 (実績評価)・図書館の外壁が崩落し、 館者数及び貸出冊数が大幅					日までの間、	図書館を開	高時休館した	ここと	が、来				
	(次年度修正点)・時勢・トレンドを反映し くの市民が本を手に取り、	た選書や蔵書構	成につ	いて考慮す	るとともに、		など図書資料	4の配架に1	夫を	し、多				
	くのはなるかですに取り、	がいたいに近し	7160	いノな凶首	四任白に力	x√0₀								

	: 基本的な取組(2桁コード)・主な内容(4桁コート				指標数	9	9	9	9	9		本的な取		
2	1	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁二	コード)	達成数	2	2	2	2	0		・主な内 D達成状	
						達成率	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	況		
						指標数	2	2	2	2	2			
(D1	生涯学習機	幾会の提供		達成状況	達成数	1	0	0	0	0			
						達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		主な内	容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		生涯学翌白	主事業等の	生涯学習自主事業	R1	目標値	2	3	3	4	4		牛涯学	
	0	IO1 充実	工事来任の	の実施回数	2回	実績値	0	2	2	3				
		, 6,7 (***************************************		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上		
		生涯学翌期	省導者等の発	「まなびのとび	R1	目標値	63	65	65	67	67	人	生涯学	
	0	102 掘	3464000	ら」に登録する指	63人	実績値	65	46	49	55			習課	
				導者の数		評価	〇 達成	× 未達成		× 未達成		以上		
	0101 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業を中止したため、目標値を達成できなかった。令和4年度については感染状況を 見極めながら、感染対策を講じた上で可能な限り実施するよう努める。													
	R 3							コナケナ	++011 L=V	N 10///		- 🖂 🖊	+1-12-25	
	3		で広く局知る 数を増やしてU	図ったことなどから ハく。	つ日悰を達り	以9 るこ	とかできた。	, 51さ続さん	ム粒いこつな	OHP寺により	クムく向知	を図り	、指導	
				惑染症拡大の影響に するよう努める。	より事業を	中止した	ため、目標	値を達成で	きなかった	。令和5年度	食については	魅力	ある事	
在	R 4			感染症拡大の影響や	生徒数の調	א ב דוגוול	活動の継続	が困難とた	ってしまっ	たお道者が	非党に名か。	ったた	xh E	
-+	4	は 標値を	達成できなか.	った。令和5年度に	コルては広	報いとう	がHP等に	より広く周囲	印を図り、指	(高) (高) (高) (高) (高) (高) (高) (高) (高) (高)	を増やして	いく。		
度		0.101 + **+=			L. 4-4-, L	A T = 0			→ 	5 / ^ T _ 1 1	L-1		A T = 7	
			t画して、実施 業を計画してU	施することが出来な ハイ	かったにめ)、	年度につい	ては魅力め	る事業を数	多く企画美術	也するよつタ	\$Ø) 、 =	可和 /	
哥平	R 5				ナ 往 ※ 1 の 活	://\/_ F/	い千重かの経緯	が困難とた	ってしまっ	たじ道老が	非尚に名か.	ったた	xh FI	
5 0102 新型コロナウイルス感染症拡大の影響や生徒数の減少により活動の継続が困難となってしまった指導者が非常に多かったため、目標値を達成できなかった。令和6年度については広報いとうや市HP等により広く周知を図り、指導者登録数を増やしていく。														
1411	\vdash			1回増加したが、目		1011				10 0 0 00 1	,,, <u> </u>			
	R Nくよう努める。													
	6	0102 目標値に	こは到達しなれ	かったが、令和4年	度以降增加	傾向で、	幅広い分野	で掲載数を	増やすこと	ができた。	引き続き学	3機会	が増え	
		るよう原	周知を図り登録	録者を増やしていく	٥									

	指標数 2 2 2 2 2												
			7777										
(2	市民の自主的生涯学	習活動の推進	達成状況	達成数	0	0	0	1	0			
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		士尼台叶光羽建成 数	市民大学・いでゆ大	R1	目標値	500	1,500	1,550	1,600	1,650	1	牛涯学	
	02	201 市民向け学習講座・教室の内容の充実	学・楽しく学ぶ子育て	1,604人	実績値	261	672	1,067	1,618		人	王涯子 習課	
		至の内台の元夫	講座延べ参加者数	1,604	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	〇 達成		以上	白味	
		学習成果を生かした地	コミュニティセンター	R1	目標値	14,000	14,000	14,050	14,100	14,150		4-1-34	
	02	202 域における学習交流機	及び生涯学習センター	14,2320	実績値	8,432	10,529	11,338	11,090		- 🗆	生涯学習課	
O2O1 新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、事業や講座を中止したことから、参加者数が大幅に減少したため、目標値を下回													
る結果となった。令和4年度については感染状況を見極めながら、感染対策を講じた上で可能な限り実施するとともに多くの方に													
	3	参加いただくよう努											
		O2O2 新型コロナウイルス!			きあった	ため、目標	を達成でき	なかった。:	今後は感染物	犬況を見極め	かなか	ら、可	
		能な限り各施設を通常											
		0201 新型コロナウイルス!							-,		5 、 目	標値を	
	R	下回る結果となった。											
年		0202 新型コロナウイルス								コロナウイル	レス感	梁症対	
		束として様々な制約の						達成でさな	かった。				
度		今後は従来通りの開発			, , ,			~				>>/ - 44 - 1-	
		0201 講座数を徐々に増や									大天中	字講坐	
評	R	についても、実施回					7520.6	0 0 ,,,,,,,			L 68 1	10 1 ()	
/11	5	0202 徐々に使用回数は上野								分める団体	本か な	り目分	
価		たちの生涯学習を向									\ =++ 		
	0201 「楽しく学ぶ子育て講座」は実施を見送り、いでゆ大学についても、昨年度より全体の出席率が低かったが、市民大学講座につい												
	020 て、前期・後期のみでなく中期開催の講座を増やしたことで、実績値は増加し、目標達成となった。今後も、アンケート結果等をR 踏まえ、受講生の興味が高い講座内容の企画・提供に務める。												
	6	四の人、文明土の典(水の同い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	'正回、还历	こっかいろ	J ₀							
		0202 施設の老朽化による	 牧障や修繕・工事を	原因とした	使用不可	J期間が生じ	るなど、使	用回数が減ん	少してしまっ	った。計画的	りな修	繕を実	
		施し活動機会を提供											

					指標数	3	3	3	3	3		
()3	3 生涯学習団体の情報	提供の充実	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
`				£15047(700	達成率	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%		
		 主な内容	管理指標	基準値	モバスー	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		±+0=±+1 = ++ = +==	広報誌やSNS等を活用	R1	目標値	16	17	18	19	20		
	03	301 広報誌やSNS等を活	した生涯学習団体の情	40#	実績値	13	31	29	45		件	生涯学
		り 用した情報提供	報提供件数	16件	評価	× 未達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	習課
			「まなびのとびら」	R1	目標値	290	300	300	310	310	団体	牛涯学
	00	302 がはダーブル沿動画体 の情報収集	に活動状況を掲載す	288団体	実績値	295	240	239	158			エルチ 習課
		113 112 12212	る団体数		評価			× 未達成			以上	
		生涯学習情報誌やホー	ホームページ「まなびのとびら」の	R1	目標値実績値	10	10	12	12	12		牛涯学
	00	303 ムページによる情報発	2	0	8			習課				
0303 分(**)による情報発 ないのという」が 8回												
												より後
												□ /- av
	R			つ目標を達用	攻するこ	とかぐきた。	りき続き	ム報いとつや	SHL急にて	グムく周知る	を図り	団体登
	3	録数を増やしていく。		チャウキリ	<i></i>		+-1-5			- ^#/45	# > # . I P	\n_+-
		0303 新型コロナウイルス! 様々ながら ほねか		i 割を目 粛し	へている回	『体か多かっ	にことから	目標を達成	(さなかっ/	こ。学後は原	3. 梁尔	況を見
		極めながら、積極的		Λ + 2 π νπ.	7. + AID	つた時から日	日かし アナバ	<u> </u>	古けっの間	√Π Λ El F⊓ AÑ'	V+ / +	~- L+
		O3O1 団体の希望により後持 ら、目標値を大幅に	上回った。今後も積	極的な広報	を継続す	る。				, -, -, -, -, -,		
	R	0302 まなびのとびらに掲	載したことにより加	入者が大幅	に増加し	たため一時	的に掲載を	停止する団	体や、新型	コロナウイル	レス感	染症に
	4	より活動を縮小するだ	にめ掲載を停止する	団体が多数	なあったた	め目標値を	大幅に下回	った。引き	続き広報いる	とうやHP等	により	の広く
		周知を図り団体登録		チャウキリ	<i>TU20</i>		+-1-5			- 71/		U > 1- =
年		0303 新型コロナウイルス! やHP等により広く周										
度		O3O1 団体の希望により後持 ら、目標値を大幅に					言しており、	市和5年度	はこの財組	の周知が進	かにし	-C/J'
٠,٠		0302 令和4年度新型コロフ	ナウイルス感染症に	より活動を	縮小する	ため掲載を	停止した団	体が、令和5	年度も引き	続き活動を	停止し	ス 再
	R	掲載に至らなかった。	ことから目標値を大	幅に下回っ	た。引き	き続き広報い	iとうや市H	P等により広	5く周知を図]り団体登録	数を対	曽やし
評	5	ていく。										
		₀₃₀₃ 令和4年度新型コロス	ナウイルス感染症拡	大により活	動を自粛	している団	体が、令和は	5年度も引き	続き活動を	自粛し再掲	載に	至らな
,		かったことや新規でき									り広ぐ	く周知
価		を図り団体登録数を対										++
		O3O1 団体の希望を基に活動 引き続き団体の情報		後援事業等	を仏報い	ICつや市H	Pに掲載し	くおり、目標	にしているく	上回ること	.7)' C 7	ぎた。
	R		精査した結果、解散	した団体も	多く目標	標値よりも大	きく下回っ	た。正確な	活動状況を収	収集するよう	う努め	てい
	6	< </td <td></td> <td></td> <td>· /+ -</td> <td>5+ 4±+0++</td> <td>キャナフ し</td> <td>+</td> <td></td> <td>T1. /</td> <td></td> <td></td>			· /+ - 	5+ 4±+0++	キャナフ し	+		T 1. /		
		0303 随時更新をかけたが	日標には到達しなか	った。引き	続さ止値	は情報を指	刺(ざるよ	つ、こまめ	こナエックし	ノしいく。		

					指標数	2	2	2	2	2]		
)4	- 魅力ある図書館の構築	築事業の推進	達成状況	達成数	0	1	1	0	0			
					達成率	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
	_	40.4 様々なイベントや企画	イベント・介画展	R1	目標値	42	44	46		60		生涯学	
	O	401 展の実施	の開催数	38□	実績値	30	43	49				習課	
				R1	評 価目標値	× 未達成 39.1	× 未達成 39.5	O 達成 39.9	× 未達成 42.4	470	以上		
	\cap	402 新図書館建設	市民満足度調査における図書館の利		実績値	38.4	41.4	34.7	35.8	47.3	%	生涯学	
	O ₂	+02 利因音站建设	用割合	38.4%	評価	× 未達成		× 未達成			以上	習課	
		0404 新型コロナウイルフ原	,		0					L ス結里とたっ			
	0401 新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、おはなし会など対面講座を中止したため、目標値を下回る結果となったが、コロナ影響下でも実施できる新たな企画を実施した。令和4年度については感染状況を見極めながら、感染対策を講じた上で図書館の												
	R 魅力を発信できる企画を実施するよう努める。												
	M												
		は、蔵書の増加のみる	ではなく、各種機能	の充実を図	るととも	に、新規利	用者の確保						
		利用者の利用促進に向											
		0401 前年度を上回るイベン							止とした事業	業があったた	こめ、	目標値	
	R	には到達しなかった。						=					
	4	0402 新図書館建設について								⇔ #088∞=	₽ «c) <i>†</i>	- FUITH	
年		新図書館においては、 ていなかった潜在利用									与比と	利用し	
		0401 目標値を上回るイベン											
度		040 日保恒を上回る1/1/2 	ノトや正画展を開催	しるた。ラ	で区で図言	またりがありって	: 井后 (さる)	正画を美心	9 るみ 2 芳6	りる。			
評	R 5	 0402 新図書館建設についる	てけ 会和ら年度の	7. 札 不調を	炒キラ	全 体重業費	の線減に向		終を進めてし	.\<			
от	5	0402 初図書品建設について	は、事業規模は縮小	するものの		・エグチ末り 増加や各種	機能の充実	を図り、新	規利用者の	ハへ。 准保及び一覧	門棋守	図書館	
価		を利用していなかった					٠ ١١٥٥٠٥١		79013713		_/\JI-c		
		0401 中央会館外壁崩落に。	より休館が続いたこ	とで、イベ	ントやú	画展の実施	が当初の予	定どおりで	きなかったカ	こめ、目標値	直を下	回る結	
		果となった。今後にこ											
	R 0402 新図書館建設については、令和6年度にリサイズのための再設計業務を実施した。令和7年5月に新築工事の入札が中止となり、												
	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日												
		り、利用割合を増やt	さるよう努める。										

担当課	生涯学習課			施策4-40	の全指標達成	艾 率	
政策目標 4	心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 4 青少年の健全な育成		指標数	10	10	10	10	10
月指す姿	次代を担う青少年が、豊かな人間性・社会性を身	達成数	5	6	6	7	0
日担り女	に着け、地域とともに健やかに育つことができる	達成率	50.0%	60.0%	60.0%	70.0%	0.0%

			指標数	1	1	1	1	1					
1 1	以果指標(KPI)		達成数	0	0	0	0	0					
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
成果		R1	目標値	1.43	1.49	1.55	1.61	1.68		4-1-34			
指標 1	校協働活動への参加回数	4.056	実績値	0.44	0.95	0.74	0,82			生涯学習課			
'		1.35回	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	白味			
月標	令和7年度にかけて市内小・中・高生の	人数が1.0	000人以	人上減少す.	る見込みの	中で、地域	或学校協働	活動への参	身加を	促す			
の	事により、青少年の健全な育成に資する。なお、地域学校協働活動への参加者数は、①あいさつ運動(一斉活動)、②												
考え													
R													
3	回る結果となった。					-, -,,		,,, -,-,-,					
年	(次年度修正点)・新型コロナウイルス感染症	の感染状況	を見極め	ながら、感	染対策を講	じた上で可能	能な限り実施	悔するととも	うに、	多くの			
度	子どもたちに参加いただくよ	う努める。	, _,_,						• • •	_ , .			
	(実 績 評 価)・新型コロナウイルス感染症							から、ふるさ	さと教	室及び			
R	夢チャレンジくらぶ延べ参加	者数が大幅	に減少し	たため目標	を下回る結	果となった。							
4	(次年度修正点)・アフターコロナにおいても	、講座へ参	加しやす	くなるよう	考慮し、ふ	るさと教室に	こついては	講座数を2分	} の1	で維持			
年度	する予定であるため延べ参加							(一斉活動)	②放	課後子			
区	ども教室の実施状況にもよる	が、概ね実	縁値は1	回前後で推	移していく	見込みである	3.						
R	(実 績 評 価)・令和4年度の次年度修正点	のとおり、	ふるさと	教室等の講	座数を2分の	の1に維持し	ていること	から、参加	者数	は横ば			
5	いであったほか、学校統合に	よりあいさ	つ運動へ	の参加者(報告数)も	減少したこと	とから目標値	直を下回った	Ξ.				
年	(次年度修正点)・ふるさと教室の講座数につ	いては現状	を変更す	る予定はな	:いが、参加	定員の増加る	を視野に入れ	1つつ、より)多く	の子供			
度	たちに参加してもらえるよう	努める。											
R	R 1(実 績 評 価)・ふるさと教室、夢チャレンジくらぶ、放課後子ども教室への参加者は増加傾向にあるが、あいさつ運動への参加者												
6	(報告数)は学校統廃合を機	に減少して	おり、今	年度も目標	値を下回っ	た。							
年	(次年度修正点) ・各講座の参加定員の見直し	を検討しつ	つ、多く	の子供たち	が楽しんで	参加できる。	よう努める。						
度													

					指標数	9	9	9	9	9		本的な取		
2	1	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁=	Jード)	達成数	5	6	6	7	0		・主な内 の達成状		
					達成率	55.6%	66.7%	66.7%	77.8%	0.0%	況	70年7047		
					指標数	3	3	3	3	3				
	1	声かけ・あいさつ運動	動の推進	達成状況	達成数	1	1	1	2	0				
					達成率	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		101 地域におけるあいさつ	あいさつ運動におけ	R1	目標値	132				145	団体	生涯学		
	0	101 運動の推進	る自治会等の地域団	129団体	実績値	162			147			王庄子 習課		
		是 30 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	体の賛同数	120014	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上			
		小・中学校及び高校に	小・中学校及び高	R1	目標値	2,760	2,760	2,760	2,760	2,760		41-72-334		
	0-	102 おけるあいさつ運動推	校でのあいさつ運		実績値	632	1,554	742	651		人	生涯学習課		
		進	動延参加者数	2,754人	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	百昧		
			「おいさつ運動下	R1	日標値	5				7				
	0-	103 あいさつ運動の広報の	「あいさつ運動瓦 版」やSNS等を活	1 ()	実績値	4				,		生涯学		
	Ŭ	推進 推進	用した広報回数	50							以上	習課		
	用した広報回数 3回 評 価 × 未達成 × 未達成 ○ 達成 以上 回													
	O101 広報いとうで賛同者の募集を図ったことなどから目標を達成した。引き続き広報媒体等を活用し賛同団体の募集を図っていく。 O102 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校を訪問する事前説明会を開催できなかったこと、夏の一斉活動を荒天のため中止													
	R	したことから、小・ロ	中学校及び高校での	あいさつ運	動延べ参	加者数が	「幅に減少し	、目標を大	幅に下回る	結果となった	き。天	候に左		
	3	右されるものであるだ			-									
		0103 夏の一斉活動を荒天に たに検討する中で、原		、広報の機	会が減り)目標を下回	回る結果とな	さった。令和	4年度につい	っては、広報	弱手法	等を新		
		0101 引き続き賛同していた 強化し、新規賛同団体			たため目	標値よりも	5高い結果と	なったが、	賛同数は減れ	少したため、	情報	発信を		
				· -	つ左连に	t ム図の5	以郷で百の士	D 文/(五)	ため トレニ	たが 今 和	1 左 🛱	1+ 7 =		
	R	O102 市民一斉活動を夏と程 通り実施できたためる												
年	4	参加者数の増加を図っ		以上に 培加	012 00.	かん 日1示す	火心にエンる	13 JIC. J	区区于汉、八	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ZA			
-		0103 あいさつ運動瓦版と9	1 1 1	報回数が夏	こと秋ので	5民一吝活	動においてき	32回であっ	たため、日	標数値に至	らなけ	いった。		
		今後はSNSで事前告					E)1C00V.CL		,,c,co,	IN XXIEIC I	J.0.7.	, 5,00		
度		O101 目標値を上回ったもの	のの、団体構成員の	高齢化によ	る活動規	模の縮小を	を理由に、賛	同団体を辞	退する連絡が	ゆ、団体の流	肖滅に	よる辞		
		退連絡が相次ぎ、賛同	司団体数が減少した	。新規賛同	団体獲得	骨のためのロ	呼びかけや活	動周知に努	めていく。					
評		0102 秋の一斉活動日当日の							、参加人数	が減少した。	また	、東		
	5	小、西小、旭小が統領												
,		0103 秋の一斉活動日当日の								の報告に留	まり、	実績値		
価		が減少した。今後は流								が+ロッカーギ +	*==	1/ + */-+/*		
	O101 目標値を上回ったものの、団体構成員の高齢化により、構成員が減少したことで活動の縮小や団体の解散が相次ぎ、賛同団体数が減少した。新規賛同団体獲得のための呼びかけや活動周知に努めていく。													
	R 6	0102 学校数及び児童数の派 ローチを見直し、参加			の実施に	至ったこと	こで、目標値	を下回る結	果となった。	,今後は学村	交への	アプ		
		0103 夏の一斉活動において	ては、開催1週間前		CSNS	で活動の周	知を図った。	活動を広く	周知するた	めにも、よ	り効果	門的な発		
		信方法について検討し	していく。											

	このははになける兄相託づくりの世界		指標数	2	2	2	2	2						
()2	2 地域における居場所で	づくりの推進	達成状況	達成数	1	1	1	1	0				
					達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
			th:m ※フ ドナ #r	R1	目標値	5	6	6	7	7	教室	H:E24		
	02	201 地域活動団体の推進	放課後子ども教室 の実施数	5教室	実績値	5	7	7	7		叙王	生涯学		
				り教主	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	日本		
		広報誌やSNS等を活用した地	広報誌やSNS等による	R1	目標値	1	1	2	2	2		H:E24		
	02	202 域における放課後等子どもたち	子どもたちの居場所づ くりに係る情報発信回		実績値	0	0	0	1			生涯学		
		の居場所に係る情報発信	数		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	日本		
	0201 新型コロナウイルス感染症拡大の状況から、一部、講座を中止せざるを得なかったものの、実施団体については目標を達成した。 withコロナを見据え、放課後における子どもの居場所づくりとして実施団体の増加に努める。 0202 新型コロナウイルス感染症拡大の状況から、積極的な広報を実施できなかったが、令和4年度については、状況を見極めながら情													
	3	報発信に努める。												
左	R	O2O1 新たに実施を希望する しに努めていく。	る団体が増加したこ	とで、目標	を達成し	た。引き続	き、持続的	に教室運営	を担うことが	ができる団体	本の掘	り起こ		
年	4	O2O2 新型コロナウイルス原	感染症の状況を踏ま	え、積極的	な広報を	実施できな	かったが、	令和5年度	については、	情報発信の	の強化	に努め		
度		る。												
評	R	O2O1 昨年と同団体が教室を ていく。	を実施したことで目	標を達成し	た。引き	き続き、持続	的に教室運	営を担うこ	とができる[団体の掘り起	記こし	に努め		
価	5	0202 積極的な広報を実施で	できなかったが、令	和6年度に	ついては	は、広報いと	うへの掲載	など活動に	ついての情報	報発信の強化	とに努	める。		
O201 1団体が教室を終了したが、後継の団体が新たな教室を開設したため、団体数としては昨年と同様の7団体となり、目標を達成た。引き続き、教室運営を持続的に担うことができる団体の掘り起こしに努める。 O202 目標の達成には至らなかったものの、広報いとうに地域学校協働活動の特集記事を掲載し活動についての周知を図った。引き総き、情報発信の強化に努める。												達成し		
												き続		

_							1							
					指標数	1	1	1	1	1				
	03	3 地区青少年健全育成	活動の活発化	達成状況	達成数	0	1	1	1	0				
					達成率	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	1			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		丰小ケ牌へ在は活動。	※信号におけて地	R1	目標値	10	10	10	10	10	1	# >E 254		
	0	301 青少年健全育成活動への地域の積極的な関与	善行賞における地 域からの推薦者数		実績値	9	64	13	39		^	生涯学習課		
		のがは、以の人類である。	以からの推薦自奴	100	評価	× 未達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	白味		
	R 0301 地域から積極的な推薦をいただいたものの、コロナ禍により目にする善行も減り、目標を達成することができなかった。青少日常的に善行に取り組み、その善行が地域の方々に伝わる風土を育成するとともに、善行賞及び推薦方法の周知に努める。													
<u>1</u>	日常的に善行に取り組み、その善行が地域の方々に伝わる風土を育成するとともに、善行賞及び推薦方法の周知に努める。 R													
R O3O1 前年から減少はしたものの、個人賞と伝統文化継承活動で地域からの推薦があり、目標値を達成することができた。 価 5														
	R 6	0301 地域のお年寄りとの3	交流や祭り等の伝統	文化の継承	といった	部分で地域	がら多数の	推薦があり	、目標を達成	或することだ	ができ	た。		

	_		\ - 11		0 * *	\ _	指標数		3		3		3		3	3		
	C)4	次也	せ代を担うリーダ [・]	一の育成	達成状況	達成数		3	4.0	3	4.0	3	4.0	3	0		
	Г			主な中 恋	管理指標	基準値	達成率	: 1	00.0% R3	10	00.0% R4	10	00.0% R5	10	00.0% R6	0.0% R7	**	担当課
	-			主な内容	官理拍標	举 华胆			N3		N4		RO		NO	n/	半世	担ヨ砞
			1.1	ーダー育成機会の拡	ふるさと教室を経	R1	目標値	i	33.3		40.0		40.0		40.0	40.0	%	
		04	01 大	ーター育成機会の拡 (夢チャレンジくら の開催)	て、夢チャレンジ くらぶに参加した	40.5%	実績値	į	37.7		52.0		42.5		70.0		,0	生涯学 習課
				-270122	者の割合	40.576	評価	iO	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
	Ī			年教育の推進(小学	小学生ふるさと教	R1	目標値	į	40		40		40		40	40	人	生涯学
		04		ふるさと教室の開	小子王いるさと教 室の参加者数	40人	実績値		50		40		40		40			王 <i>连</i> 子 習課
			催)	±00000		評価	i O	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
				少者を指導する中高	夢チャレンジくら ぶの参加者のう	R1	目標値	į	52.9		55.6		55.6		55.6	55.6	%	
		04	03級	の育成(静岡県初 ・中級青少年指導者	ち、静岡県青少年 指導者認定を受け	52.9%	実績値	į	82.6		84.6		94.1		85.7			生涯学 習課
				定者事業の推進)	た者の割合	,_,		iO		0	達成	0		0	達成		以上	
		(0401	新型コロナウイルスをして夢チャレンジく	感染症拡大の状況の らぶへと進む流れを	中、可能な 構筑してい	:限り事:	業を	推進する	らこと	こで、目	標を	を達成し	た。	引き続き	き、ふるさん	こ教室	を経由
			7402	ふるさと教室につい				オ抽	選となっ	た	新型コ		トウィル	フ感	边症拡大	大の状況には	シンフ	* 当
		3 ロ		該事業への参加意欲な	が高いため、引き続	き事業のフ	ブッシ	ュア	ップを図	 つって	ていく。							
			0403	令和2年度までに静岡	別県青少年指導者認知	定を受けた	者が令種	[]3f	程度の夢	チャ	レンジく	(5	ぶに13.	人参	加したる	こと、令和3	発度(の夢
				チャレンジくらぶに続き新規参加者を募る。										.人己	シヘエ回・	ることか (で)	a/こ。	りる統
	Ī	(0401	ふるさと教室参加希望 推進していく。										えて	いるため	か、引き続き	きこの	流れを
		R	0402	ふるさと教室につい 業への参加意欲が非常									人を超え	える	143人0	の応募があっ	った。	当該事
1	.	4		令和3年度までに静									5/5/17 13	3 人 ≸	参加した	こと、令和	4年	きの夢
		(0403	チャレンジくらぶに新き新規参加者を募る。	新たに参加した13/	人のうち9	人が指導]者	認定を受	けた	ことかり	5.	目標値を					
J.	复-	(0401	ふるさと教室参加希望		しており、	夢チャ	レン	ジくらら	连	として参	加を	希望す	る生	徒が増え	えているため	か、引	き続き
Ē	Ψ	R G	0402	前年度から減少はしたのブラッシュアップを	こものの、定員40人	に対し約9	90人の	心募	があった	-0 =	当該事業	Λ σ.	参加意	欲が	非常に高	高いため、こ	引き続	き事業
1		_	0403	令和5年度中に新規に ダーの育成に努める。	指導者認定を受けた	こ者が10人	いたこ	とカ	ら、目標	票値:	を大きく	上回	回ること	がて	できた。:	今後も次世紀	代を担	ヨうリー
1	<u>Б</u> _	(0401	ふるさと教室で貴重な	な体験をした小学生							.,	110-1-			6年度は過去	4年	で最も
		R	0402	多い28人の中高生が やや減少はしたものの												ッシュアッ	プを図	図って
		6	0.105	いく。	=1.1-+1.1-1.1-1.1.1				77-1	L W-		· //·	L \ L	l> === :			1	
		()403	新規に指導者認定を	受けた者が1/人おり	ノ、目標値を	と大きく	.上[3ること	טי־כ	さた。う	ラ後	も次世代	tを!	ロフリー	ターの育成	に劣め	වරු.

担当課	生涯学習課			施策4-50	の全指標達成	戊率	
政策目標 4	心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 5	市民スポーツ活動の推進	指標数	7	8	8	8	8
月指す姿	市民が気軽に快適にスポーツに取り組むことがで	達成数	3	2	3	2	0
日指9安	き、生涯にわたって健康を維持することができる	達成率	42.9%	25.0%	37.5%	25.0%	0.0%

歩												
			指標数	1	1	1	1	1				
1 原	以果指標(KPI)		達成数	Ο	О	Ο	Ο	0				
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	「市民スポーツ活動の支援」に満	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
成果		R2	目標値	74.5	76.0	77.5	78.5	80.0	0/	#\\\\		
指標 1		70.00/	実績値	72,7	68.7	68.2	70.4		%	生涯学		
	度調査)	73.3%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	習課		
目標値	1											
ロ 1示 II の	中氏神正皮調質を参照9ることにより、	市民の中が	から無作	為に抽出る	された広範	囲の皆様の)意見や評価	面を把握す	るこ	とが		
考えア	可能となるため。											
		予防のため	対合体	育体型の防	時間命かイ	ベントの中ロ	トたどが重 <i>t</i>	でった影響に	- トス	キので		
R 3	(実 績 評 価) ・新型コロナウイルス感染症予防のため、社会体育施設の臨時閉館やイベントの中止などが重なった影響によるものであると考える。											
年	めると考える。 (次年度修正点)・withコロナを踏まえ、感染対策を的確に実施し、事業をできる限り実施することで、市民の皆様の満足度向上が図ら											
度	(次年度修正点)・Withコロブを唱みれ、燃業れるよう努める。	NRZDI	Eに天心し	人 尹未でし	この限り天	元9つここ	כי ווידיייוּ	白体り何たり	호메ㅗ	'ハ'図ら		
	(実績評価)・新型コロナウイルス感染症	マ陸のため	サーク は	- 李体乳の利	田生川田か夕	活数完。士 《	今の中止なる	- ¬□+i	コーち	ハア汗		
R 4	マスクライルス念条症 動に制限が課された点やスポ							_,/ 1	引にの	0100		
年								+フギロロ生!!!!	3 A P	声しか		
度	(次年度修正点) ・新型コロナウイルスの感染 事業実施ができるよう進めて		(親力) 3 独	八〇杉汀9	るのを踏ま	ん、社会体育		ノる利用制度	えい兄			
	3 2/22/2003 10 00 12 20 20 12	• • • •		1701-881 7	1十歩成1 七	+ の の	カレち - 七1	7.伊韦克签2	4+*			
R	(実 績 評 価)・コロナ禍で実施していた社 崎分校の利用が一部できなく		- 1-1-1-1-1			ものの、廃作	父となうだま	1伊宋高寺7	产仪、	回処ケ		
5	-3/3/// - 10/10/	0 - 1 - 11 -			•	===+ <i>i</i>	~ = #n45 <i>t</i>	= 1 2 2" - 2 11=	-881	 → + +		
年度												
						707-451+		> 1				
R	1(実績評価)・目標値は下回ったものの、 素型により、 ま足送品度がよ			,	ング至の機	話更新や、 ₋	_ユー人ホ-	ーツいれあい	ハノエ	スタの		
6	誘致により、市民満足度が上			•								
年	(次年度修正点)・引き続き老朽化した施設及	ひ機器の更	新に努め	るとともに	、ホッチャ	を始めとする	5ニュース <i></i> 7	ドーツの晋及	とに努	නරු.		
度												

							_] vv. ++-	-45+ TO
					指標数	6	7	7	7	7		本的な取 ・主な内
2	2	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁二	コード)	達成数	3	2	3	2	0	容0	の達成状
					達成率	50.0%	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	況	
					指標数	2	2	2	2	2		
	0	1 スポーツ団体の支援		達成状況	達成数	2	1	1	1	0		
					達成率	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		コピ ツロはの活動士	7 # 11#7	R1	目標値	26	26	26	26	26	団体	H 1E 24
	C)101	スポーツ協会 加盟団体数 ※4	00=	実績値	26	26	24	24		山冲	生涯学 習課
		1友	加益凹冲数 ※4	26団体	評価	〇 達成	〇 達成	× 未達成	× 未達成		以上	白味
		_ 10	スポーツ賞賜金	R1	目標値	32	34	36	38	40		
	C	2102 スポーツに取り組む市	30	47	47		^	生涯学				
		プログロ 民の活動支援 Rの活動支援	交付人数	31人	評価	〇 達成	× 未達成	〇 達成	〇 達成		以上	習課
	O1O1 令和3年度は目標値を達成することができたが、引き続き加盟団体への支援及び新規加盟促進を図っていく。											
	R											
	3	O102 令和3年度は個人20th	件と団体2件の延べ	36人にスプ	ポーツ賞	賜金を交付し	ンた。 今後も	ら効果的な活	用がされる	よう、広く	周知を	王図っ
		ていく。										
		0101 令和4年度は目標値で		きた。引続	きか盟団	団体への支援	及び加盟団	体数の維持	向上が図られ	1るよう新 規	見加盟	の促進
_	_ R	に関しても実施してい	·1<.									
左	- 4						_ , ,		やむなく出せ	易を断念した	こ者が	あるこ
馬	<u> </u>	とも減少の一因である										
		0101 令和5年度は目標値を	を達成することがで	きなかった	。体育協	3会と連携し	て、団体加	盟するメリ	ット等を周囲	むしていく。		
<u>=</u>	F C											
17	5								の水準に戻り	りつつある	<i></i>	出場者
佰		の父母の"横のつなが						0 - 1 - 0	++.+ +	10\H I= +0.	17	
		0101 令和6年度は目標値を	と達成することがで	さなかった	。本市ス	スポーツ振興	い要となる	云貝を増や	タため、加ノ	人促進に劣	りる。	
	R		7 14 A + 14 L + 10			- -	0.#U# 0.E.#	-n-#\\\\	u r= -±-±-	°++\ + ++	++1==	7.011
	6					に。資賜金の	の制度の周知	山か進み、例	11年、甲請か	なかった競	·技種E	当の出
		場選手からも申請があ	りり、日信を上凹る	安囚となっ	١/١٥							

※4 伊東市体育協会は令和7年6月より「一般社団法人伊東市スポーツ協会」に名称を変更した。

					指標数	1	2	2	2	2		
(02	社会体育施設等の充実	実	達成状況	達成数	1	1	2	1	0		
					達成率	100.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		。。. 社会体育施設の設備等	 長寿命化実施計画		目標値	_	2	4	6	7	重業	生涯学
	O2	201 更新	完了事業数	_	実績値	_	2	4	4			工性子
		~171	703 3-20	% 5	評価	_	〇 達成	〇 達成	× 未達成		以上	
		000 学校体育施設の設備等	 修繕、工事及び	R1	目標値	2	2	2	2	2	施設	生涯学
	O2	202 更新	備品購入施設数	2施設	実績値	3	1	5	5			習課
					評価	〇 達成	× 未達成		〇 達成		以上	
		O2O1 令和3年度は必要な修繕等に関し精査を行い、令和4年度以降の計画に関し見直しを実施した。R3の目標値の設定をしていなかっ R たため、評価を「一」とした。										
	3			大小学はの	三几/共元立	ナケハ み	+六88+九古**	ニナバナフギロ	コ麻の白 Lだ	-WW+ 2	S/4/ + 1	tta≡Ωuro
	3	O2O2 令和3年度は東小学校 状況を確認し、必要に						このける海が	E段の同工に	_劣めに。う	をもん	他設の
		0201 令和4年度は伊東市		根及び体育	室内倉庫	『扉の修繕を	実施した。	今後も市民	満足度の向」	上につながる	るよう	、必要
年	R	な修繕を実施している										
	4	0202 令和4年度は宇佐美								が少なかった	こため)、1施
度		設のみの改修にとどる								-		
		O2O1 令和5年度はかどのF がるよう、必要な修繕		備の更新な	ひて原正	は追場エレヘ	ニターの改	修を実施し	た。今後も「	中民満足度(り回上	につな
哥平	R 5	0202 令和5年度は5施設		- 今後まごき	(生主)小正	ローホドた格	(経ち宝饰)	市尼港里	中の向した	図っていく		
価		0202 市和3年度は3地設は	乃修福を美加した。	フ度でいる	でである	さに心 ひんじ	滞で天心し	、中内间处	支の凹上では	凶 ノ ていて。		
ш		 0201 令和6年度は計画に	記載した改修事業を	実施できな	かった。	利用者の安	全確保及7	市民満足度	の向上につれ	ながるよう.	必要	な修繕
	R	を実施していく。	10-M 07CW 19-X C	20,000	.,, ,,,,,	13/13 🗆 🗸		· - D4/1-3/C/3C	·), <u>J_</u> (),	w.c	يو.ن	ם וויכיו איי
	6	0202 令和6年度は5施設の	の修繕を実施した。	学校開放事	業利用区	体による破	受損の修繕の	他、経年劣	化した設備の	の修繕を行い	八、利	用者の
		利便性向上を図るこ	とができた。									

※5 伊東市社会教育施設長寿命化計画を令和2年度末に策定予定であるため、基準値は一とした。

_											_	
					指標数	1	1	1	1	1		
	03	3 指導者の養成		達成状況	達成数	0	0	0	0	0		
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		7.1	¬+° \\	R2	目標値	12	13	13	14	15	1	# XE 244
	0	₃₀₁ スポーツ推進委員の拡 充	スポーツ 推進委員数	11人	実績値	11	11	11	8			生涯学
		76	批准女貝奴		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	白味
	R	R 0301 スポーツ推進委員の高齢化や個々の事情により継続できないケースが生じており、従来までの方法では新規就任者を確保すること										
	3	が難しくなってきてい	いる。今後は体育協	会等の関係	機関と連	堕携し、委員	の拡充がで	きるよう努力	める。			
ź	₽R	O3O1 スポーツ推進委員の高	高齢化や個々の事情	により継続	できない	1ケースが生	じており、	従来の方法	では新規就信	壬者を確保す	するこ	とが難
	₹ 4	4 しくなってきている。今後は体育協会等の関係機関と連携し、委員の拡充ができるよう努める。										
ſi	5											
	R	R 0301 令和6年度は現職のスポーツ推進委員の紹介で新たな委員を委嘱した一方で、高齢化や個々の事情により継続不可能となった委員										
	6	6										

	指標数 2 2 2 2												
_						2	2	2	2	2			
O ₂	4 市員	民の健康維持及び位	本力向上	達成状況	達成数	0	0	0	0	0			
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
				R1	目標値	9,100	9,200	9,300	9,400	9,500	1	# XE 244	
C	401 7	スポーツ教室の拡充	参加延人数	0.070	実績値	3,908	6,280	6,068	6,299		人	生涯学習課	
				8,979人	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	白味	
				R1	目標値	26	27	28	29	30	٠.		
	402 市	5民の体力向上	体力運動能力	0.4.1	実績値	0	0	15	0		人	生涯学	
	•		調査参加者数	24人	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	習課	
	0401	新型コロナウイルス原	感染症予防のため、	中止とした	事業が多	ろくあり、目	標を達成す	ることはで	きなかった。	令和4年度	以降	はコロ	
IR	O401 新型コロナウイルス感染症予防のため、中止とした事業が多くあり、目標を達成することはできなかった。令和4年度以降はコロ R ナ禍においても実施ができる方策を模索していく。												
3	0402	: 新型コロナウイルス原	感染症予防のため、	令和3年度	事業を中	止とした。	令和4年度以	以降はコロナ	禍において	も実施がで	きるフ	う策を	
		模索し、市民の体力に	り上に努める。										
	0401	新型コロナウイルス原	感染症予防のため、	中止または	実施回数	なを減少した	事業があっ	たことがー[因として考え	えられる。	效室実	施回数	
_R		及び内容についても使	甲東市振興公社と共	に検討して	いくとと	もに新たな	事業開催に	向けた調査	を継続してい	· \< 。			
年 4	0402	新しい開催方法を模索	をし、実施について	検討したが	、令和4	年度は実施	できなかっ	たため目標の	直を達成する	ることができ	きなか	った。	
度		令和5年度は開催日等	等の調整を行いより	多くの市民	が参加て	できるように	事業を行っ	ていきたい。)				
反一	0401	新型コロナウイルス原	感染症による影響は	ほぼなくな	ったが、	参加者は前	年度からや	や減少した。	, リピータ-	ーは多いたと	か、新	規参加	
評R		者増加に向けた方策を	を伊東市振興公社と	検討してい	< 。								
³¹ 5	5 0402 令和5年度は4年ぶりの開催となったが、参加者数は目標値の約半分にとどまった。また、若年層の参加者が少なかったため、幅												
価		広い年齢層の参加者均	曽加に努める。										
	0401	前年度に比べ参加者は								ーツへの関ル	小の増	加が、	
R		参加者の増加の要因と	こ考えられるため、	これらに関	連する情	録発信を伊	東市振興公	社と検討して	ていく。				
6	0402	! 体力運動能力調査にお					、令和6年	度は開催に	至らなかった	こ。事業の原	引知を	強化	
		し、幅広い年齢層の参	参加者増加を通して	市民の健康	増進を図	3る。							

担当課	生涯学習課・企画課			施策4-60	の全指標達成	艾 率	
政策目標 4	心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 6	歴史・芸術文化の振興	指標数	10	10	10	10	10
月指す姿	市民が歴史、芸術文化に触れ、心を豊かにすると	達成数	2	2	2	2	0
日拍9安	ともに、後世に伝えることができる	達成率	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%

指標数 2 2 2 2 2 1 1 成果指標(KPI) 違成数 0 0 0 0 0												
1 1	が里指煙(KPI)								1			
' '	从未3日示(17)		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	「共体」サルに触れる状態への方	基準値	22/2/ 1	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
成果	「芸術・文化に触れる機会の充	R2	目標値	64.0	65,5	67.0	68,5	70,0	0/			
指標 1		00.70/	実績値	61.8	57,8	61.9	62,2		%	生涯学		
	(市民満足度調査)	62.7%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	習課		
日標	i 市民満足度調査を参照することにより、	市民の中が	から無作	為に抽出す	された広範	囲の皆様の)意見や評(西を把握す	るこ	とが		
の	可能となるため。											
考え	<u>ל</u>											
成果	「史跡・郷土芸能の保存」に満足	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
指標		R2	目標値	76.8	77.6	78.4	79.2	80.0	%	生涯学		
2	調査)	75.9%	実績値	76.6	70.7	75.0	75.4			習課		
					× 未達成				以上			
目標		市民の中が	から無作	為に抽出る	された広範	囲の皆様の	意見や評価	曲を把握す	るこ	とか		
考え	可能となるため。											
57.	3 1 (実 績 評 価) ・新型コロナウイルス感染症	の成沙院上	のため	生術奴 伊	市市中に関	する謙成。	装定会生の国	1世を由止。	(統川)	けざる		
	を得ない状況が発生したこと				米山文に関	9 公開圧 で	再次女子(7)号	●未で中止、	、別日ハル	600		
R	(次年度修正点)・withコロナを踏まえ、感染				きる限り実	施すること	で、市民の旨	当様の満足!	安向 上	が図ら		
	3 れるよう努める。											
年 2(実績評価)・目標値をやや下回ったが令和2年度の数値は上回っており、史跡江戸城石垣石丁場跡保存活用計画策定といった事業												
度	内容が評価されつつあると考	えている。										
	(次年度修正点)・史跡に関する情報発信や、郷土芸能の保存団体に対する支援に努める。											
	1(実 績 評 価)・3年ぶりに芸術祭を開催したものの、コロナ禍により一部制限をして開催したことや芸術・文化団体の解散等により											
	1(美 槇 評 価)・3年のりに芸術宗を開催し参加者がコロナ禍前を下回っ						- 10 云何•又	.16凹1407階	長年			
R 4	(次年度修正点) ・観光会館文化事業入場者数は前年度を上回るなど、芸術・文化に対する関心は高いと考える。振興公社及び文化協会と連携し、魅力ある事業を提供することで、市民の皆様の満足度向上が図られるよう努める。											
年	2 (実績評価)・コロナ禍で郷土芸能の保存											
度												
	(次年度修正点)・史跡に関する情報発信や、	郷土芸能の	保存団体	に対する支	援に努める。							
		+00 0	+亜/= /- /-	たったか	+							
	1 (夫 頼 評 1回) ・ 夫領恒が削牛及を上回った	ものの、日	信间には	主りなかつ	た。							
R	(次年度修正点) ・振興公社及び文化協会と連	護し、 魅力	ある事業	を提供する	ことで、市1	3の皆様の	端足度向 ト <i>†</i>	が図られる。	とう努	める。		
5			0) O = N		CC ((),) () () () () () () () () () (3/L/X/1311/	2 2 1 1 0 0		0 5 0 0		
年	2(実績評価)・実績値が前年度を上回った	ものの、目	標値には	至らなかっ	た。							
度												
(次年度修正点)・史跡に関する情報発信や、郷土芸能の保存団体に対する支援に努める。												
	1 (宝 績 誣 価) • 宝績値が前年度を F向った	±00 P	煙値にけ	至らたかっ	<i>t</i> =							
	1(実績評価)・実績値が前年度を上回ったものの、目標値には至らなかった。											
R	(次年度修正点)・観光会館文化事業入場者数及び芸術祭観客数は前年度を上回るなど、芸術・文化に対する関心は高いと考える。振興											
6	ハ共中が大ルカクレオ様!(サナナス末米ナヤルナステレズ、ナロッドゲッサロウカーが回されてよこかはス											
年	2(実績評価)・実績値が前年度を上回った	ものの、目	標値には	至らなかっ	た。							
皮								<u> </u>	0.51	- >		
			る。また	、無形民俗	文化財保存[団体連絡制	度や伝統文化	比育成事業初	助金	の活用		
	を 世して、 凹体に 刈り る文 援	に劣める。										
年度 R6	(次年度修正点)・史跡に関する情報発信や、 1(実績評価)・実績値が前年度を上回った (次年度修正点)・観光会館文化事業入場者数 公社及び文化協会と連携し、	携し、魅力 ものの、目 郷土芸能の ものの、目 及び芸ある。目 魅力あの、目 発信に努め	ある事業にはは、保存団体標値には、は、関係を提供では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を提供する 至らなかっ に対する支 至らなかっ 前年度を上 することで 至らなかっ	ことで、市 た。 援に努める。 た。 回るなど、:: 、市民の皆 た。	芸術・文化I 様の満足度I	こ対する関心 句上が図ら れ	wは高いとき れるよう努め	きえる	。振卿		

					指標数	8	8	8	8	8		本的な取
2	基	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁=	コード)	達成数	2	2	2	2	0		・主な内 の達成状
					達成率	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	況	
					指標数	3	3	3	3	3		
()1	文化財の保護・保存		達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
					達成率	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			指定文化財及び	R2	目標値	66		67	68	68	件	生涯学
			無形民俗文化財	66件	実績値	67	67	68	68		-	王庄子
	∩ 1	01 指定文化財等への保護	保存団体登録件数	OOH	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
	O I	り や支援		R1	目標値	41	41	42	42	43	件	生涯学
			補助金交付件数	41件	実績値	40	38	34	37			主 座子 習課
				7117	評価	× 未達成		× 未達成	× 未達成		以上	
		史跡江戸城石垣石丁場	計画内経過観察項目		目標値	24	24	24	24	24	件	生涯学
	01	O2 跡保存活用計画に沿っ	達成件数	_	実績値	6	7	7	7			工性チ
		た施策実施	(全24項目)	% 6	評価			× 未達成				
	R	O1O1 指定文化財及び無形 指定文化財の所有者等						付件数は目	標に至らなれ	かった。次年	丰度以	(降は、
		0102 令和3年9月発行の『	史跡江戸城石垣石	「場保存活月	用計画書。	をもとに こ	実施したが、	目標値を達	を成するには	至らなかっ	た。7	なお、
		計画書の概要版と市内 用を行っていく。	3の石」場を解説し	たバンフレ	ツトを作	・ 成した。 行	が14年度は	整備沽用計區	国の準備を追	基めなから、	展示	等で活
		0101 指定文化財及び無形則	2.俗文化財保存団体		日標を達	軽成したが.	補助金の交	付件数は日	標に至らなれ	かった。引き	き続き	: 指定
	R	文化財の所有者等に含						.1311 \$\text{\$\}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}	IX(CT 5.00)	5 2720 510	_ 1100 C	, , , , , ,
年		0102 目標値を達成するには	は至らなかったが、	民間団体と	協力して	子ども向け	の教材を開	発するなど	、進展も見り	られた。令種	05年	度は整
度		備活用計画の準備を進	並めながら、展示等	で活用を行	っていく	. 0						
/S	0101 指定文化財及び無形民俗文化財保存団体登録件数は目標を達成したが、補助金の交付件数は目標に至らなかった。引き続き、指定											
評	R	文化財の所有者等に含	31211311022 -1 01 - 0		71011102	14.4						
	5	0102 目標値を達成するには	は至らなかった。 引	き続き整備	基本計画	画の準備を進	めながら、	展示等で活	用を行ってし	۱<.		
価												
		0101 指定文化財及び無形民						付件数は目	標に至らなれ	かった。引き	き続き	、指定
	R	文化財の所有者等に名						_ 小	不用加士で			
	6	0102 目標を達成するには3	Eりなかつた。51さ	煮る発伸型	本計画0.	準備を進め	がいり、展	ぶつ 講座寺	で向知する。			

※6 史跡江戸城石垣石丁場跡保存活用計画を令和2年度末に策定予定であるため、基準値は一とした。

					指標数	2	2	2	2	2		
(2	2 歴史に触れる機会の	是供	達成状況	達成数	0	0	0	0	0		
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		。。 歴史講座及び出前講座	田内 サルに明する	R1	目標値	10,450	10,600	10,750	10,900	11,000	人	生涯学
	02	201 並び時度及び山間時度 がびに講演会の充実	歴史・文化に関するイベントの来場者数	10,302人	実績値	890	6,859	7,269	8,368			工圧子
		並らに開決立の元		10,0027	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	
		木下杢太郎記念館及び		R1	目標値	7,760	7,820	7,880	7,940	8,000	人	生涯学
	02	202 文化財管理センターの	施設入場者数	7,714人	実績値	2,663	4,560	4,697	4,884			習課
		充実			評価	× 未達成			× 未達成		以上	
		0201 新型コロナウイルス原									りした	ため、
	R	目標を大幅に下回る約										
	3	O2O2 新型コロナウイルス原 た。令和4年度以降に							. 目標を大幅	■に下回る網	詰果と	なっ
		O2O1 新型コロナウイルス原	感染症の影響が減少	し、令和3	年度と比	上較して歴史	・文化に関	するイベン	トの来場者数	数は増加した	こが、	目標値
左	R	には至らなかった。	今後も魅力ある歴史	講座等を企	画し、非	R場者数の増	伽を目指し	ていきたい。	,			
年	4	O2O2 木下杢太郎記念館・3									東市へ	の来訪
度		者数の減少などの影響	=				- 1 1 3 1 2 1 -					
		0201 実績値が前年度を上回	回ったものの、目標	値には至ら	なかった	こ。引き続き	魅力ある歴	史講座等を含	企画し、来は	場者数の増加	加を目	指して
評	R	いきたい。										
,	5	0202 実績値が前年度を上	回ったものの、目標	値には至ら	なかった	こ。今後も企	画展等のイ	ベント開催	こよって入館	館者数の増加	加に努	める。
価			1 ++ o o o o	はにはだこ	±+> +		: th+ + + 7 ==	h ####+	A=1 ++1	B # # 1 # 1 # 1 # 1	n +	1+151 -
		O2O1 実績値が前年度を上® いきたい。	凹つにものの、目標	個には至ら	はかった	こ。51さ続き	一階刀める歴	史講座寺を1	正囲し、米耳	易有数の増加	川を日	指して
	R 6		コッたものの 口畑	店にけ安に	たかった	- 今後十个	両屋竿のノ	ベン/ト目/出	ニトってユギ	京学粉の###	n/- \$5	いカス
		0202 夫領旭が削井及を上し	ヨフにものの、日信	同には主り	はいうだ	_。 フ 仮 ひ 止	回展守の1	ハノト用作	こよう(人)	6百数の増ん	川に劣	iw)る。

					指標数	2	2	2	2	2	1	
(23	芸術文化活動の支援		達成状況	達成数	0	0	0	0	0		
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1	
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			文化協会	R1	目標値	79	80	81	82	83	団体	生涯学
	03	301 芸術文化団体等の支援	加盟団体数	78団体	実績値	68	66	70	66		四件	王涯子 習課
			W#151muk	10回件	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	
		200 芸術文化に取り組む個	芸術祭	R1	目標値	1,150	1,175	1,200	1,225	1,250	人	生涯学
	03	302 公園文化に取り掘り間 人の支援	参加者数	1,136人	実績値	118	928	981	1,062			エルナー 習課
				, , , , ,	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	
	0301 新型コロナウイルス感染症予防のため、活動の自粛を行ったことから、加盟団体数の増加が見られなかった。引続き加盟団体への 支援及び新規加盟促進を図っていく。											
	3 0302 新型コロナウイルス感染症予防のため、展示部門及び上演部門を中止としたことから、目標値を大幅に下回る結果となった。令和 4年度以降はコロナ禍においても実施ができる方策を模索していく。											
	R	O3O1 新型コロナウイルス原加盟団体への支援及び			たものの)、活動の自	粛が続き、	加盟団体数	の増加が見ら	られなかった	こ。継	続して
年度	4	0302 3年ぶりに芸術祭を開 5年度以降は情報発信							者数は目標値	直に至らなか	いった。	。令和
	O3O1 実績値が前年度を上回ったものの、目標値には至らなかった。継続して加盟団体への支援及び新規加盟促進を図っていく。 R											
価	5 0302 実績値が前年度を上回ったものの、目標値には至らなかった。引き続き情報発信等を積極的に行い、より魅力ある芸術祭を目指し											
	R	0301 脱退する団体がある-	一方で、新規加盟団	体も見られ	る。今後) も継続して	新規加盟を	促進し、団	体数増加を	図っていく。		
	6 0302 実績値が前年度を上回ったものの、目標値には至らなかった。積極的な広報に努め、参加者の増加を目指していきたい。											

_												
					指標数	1	1	1	1	1		
	O	4 文化拠点となる場の	整備	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			文化拠点となる場		目標値	実施	実施	実施	実施	実施		
	C	0401 文化拠点となる場の整備に向けた調査・研究	の整備に向けた調 査・研究の実施の	_	実績値	実施	実施	実施	実施			企画課
			有無	% 7	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成			
	3	P O401 内閣府が実施するPPP/PFI事業に関する企画・構想の事業化支援の採択を受け、教育文化施設建設事業の方向性、事業スキーム、検討課題、検討工程及び関係部局の関与のあり方等の整理を行うとともに、PPP/PFI手法の導入に向けた関係者の理解を醸成するための勉強会を開催した。また、ふじのくに官民連携実践塾を通じて、サウンディング型市場調査を実施し、民間事業者が参画可能な事業スキームを確認した。令和4年度以降についても、引き続き、PPP/PFI手法の導入に向けた調査・研究を進めていく。										
尽	R 0401 生涯学習課と建築住宅課において神奈川県小田原市にある「小田原市民ホール(通称:三の丸ホール)」に先進地視察を実施し 4 た。令和5年度以降についても、引き続き、PPP/PFI手法の導入に向けた調査・研究を進めていく。											
	¥ F										営に	関する
	1.5	R 0401 「図書館・文化ホール建設に向けた検討会最終報告(令和2年12月)」をベースに、次年度(令和7年度)以降に予定している 建設候補地を選定するための事業スキームの検討を行った。										

※7 令和3年度から新たに実施するものであるため、基準値を一とした。

担当課	企画課•観光課	施策4ー7の全指標達成率							
政策目標 4	政策目標4心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち施策分野7郷土愛の醸成		R3	R4	R5	R6	R7		
施策分野 7			5	5	4	4	4		
	本市の将来を担う高校生が生まれ育ったまちに誇りを 持ち、「住み続けたい」「離れても将来戻ってきた い」と思える	達成数	1	1	1	1	0		
目指す姿		達成率	20.0%	20.0%	25.0%	25.0%	0.0%		

, ,	*				指標数	2	2	2	2	2]	
1 成果指標(KPI)			達成数達成率	50.0%	50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0.0%				
				建以华	R3	30.0% R4	30.0 / ₀	30.0 / ₀	0.0% R7	単位	担当課	
成果 指標		伊東市に将来戻ってきたいと思う		R2	日標値	59.5		62.5	64.0	65.0		1
	2	高校生の割合		実績値	72.7		59.4	63.2		%	企画課	
1		F)		58.0%	評価	〇 達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	
目標	直	伊東市に将来	戻ってきたいと思う高校生	の割合は、						6を参照し	、各	年度
の												
考え	ㅎ ·											
成果	3			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
指標	5		に愛着を持っている高	R2	目標値	72.0	-	74.0	74.5	75.0	%	
2	•	校生の割合	(高校生アンケート)	71.6%	実績値	68.1	74.0	79.7	87.9			企画課
		/mm /==±/0				× 未達成			○ 達成	.+ 1 00/	以上	
目標			愛着を持っている高校生の					あり、行札	」2年度実施	漬 / 1.6%7	から、	谷年
考え		度1%程度の.	上昇を見込んだが、4人中	3人を日1	祟に / り.	U%CU/C	0					
51		(中华亚压)	目標値を達成しており、今	<u> </u>	アキたい)」と田ラフ	± たベノハ	に奴みてい。				
	1	(美検評価)	・日信恒を達成してのり、ラ	皮も「灰つ	Calev	リーに応える	はりしくり	に劣めてい	` 0			
D		(物年度核正方)・日煙値付達成しているが、高校生力ンケートの同窓変が並年度にレベア下がってしまった。今後は同窓変を言めてい										
R 3		(次年度修正点) ・目標値は達成しているが、高校生アンケートの回答率が前年度に比べて下がってしまった。今後は回答率を高めてい くよう、高校にも積極的に働きかけていくとともに、高校との連携を深め、郷土愛の醸成に努めていく。										
年	2	(実績評価)									らめて	いく。
度	_	(実 績 評 価)・目標値に未達成のため、高校との連携を深め、郷土 (伊東) に誇りや愛着が持てるようなまちづくりに努めていく。										
		(次年度修正点)	高校生アンケートの回答率	が前年度に	比べて下	がってしま	った。今後	は回答率を高	高めていく。	くう、高校に	こも積	極的に
			働きかけていくとともに、高									
	1	(実 績 評 価)・目標値に未達成のため、高校との連携を深め、将来戻ってきたいと思うまちづくりに努めていく。										
		(次年度修正点)・未来ビジョン会議等を通じて、高校生の生の声を聞く機会の創出に努めていく。										
R												
4 年	2	(実績評価)・目標値を達成した。高校との連携を深め、今後も郷土(伊東)に誇りや愛着が持てるようなまちづくりに努めてい										
度	_	<.										
		(次年度修正点)・高校生アンケートの回答率が前年度に比べて上昇した。今後も回答率を高めていくよう、高校にも積極的に働きかけ										
			ていくとともに、高校との連									
	1	(実績評価)	・昨年度より増加したものの							に思うまちて	づくり	につい
			て高校生の生の声を聞くこと									
R		(次年度修正点)・引き続き、未来ビジョン会議委員に高校生を選出し、将来戻ってきたいと思うまちづくりについて若者の視点による										
5	_	良いアイデアや意見を伺い、施策への反映に努めていく。										
年度	2	(実績評価)・目標値を達成した。高校との連携を深め、今後も郷土(伊東)に誇りや愛着が持てるようなまちづくりに努めてい										
/X		く。										
		(次年度修正点) ・高校生アンケートの回答率が前年度に比べて上昇した。今後も高い回答率を維持することができるよう、高校にも積極的に働きかけていくとともに、高校との連携を深め、郷土愛の醸成に努めていく。									にして	
	_	(実績評価)	・昨年度より増加したものの。	日標値に	は届かな	かった。昨	年度に引き	続き、未来と	ブジョン会調	義の委員に高	5校生	を選出
	1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	し、高校生委員の人数を3人	から5人に	増やすこ	とにより、	高校生の視	点による"原	戻ってきたい	はちづくり	ງ"	アイデ
		アを伺う機会を増やした。										
R		(勿年度終正占)	・瓜立戸ってきたいと田うま	ちづくいに	ついて芋	老の担占に	トス白いフ	イデフかき	目を伺う燃く	トたいけ ゼ	は金く	
6	- (次年度修正点) ・将来戻ってきたいと思うまちづくりについて若者の視点による良いアイデアや意見を伺う機会を設け、施策への反 - に努めていく。										の人文氏	
年度	2	(実績評価)	・目標値を達成した。高校と	の連携を深	め、今後	5七郷土 (伊	東)に誇り	や愛着が持つ	てるような言	まちづくりに	一努め	てい
15	_	, 2 4 10 C O I I III /	く。	- A-1/3 C/A	,	- JAP-1 (1)	,		20.5.00			
		(次年度修正点)	高校生アンケートの回答率	が前年度に	比べて上	:昇した。今	後も高い回	答率を維持す	することがで	できるよう、	高校	にも積
			極的に働きかけていくととも	に、高校と	の連携を	深め、郷土	愛の醸成に	努めていく。				

2 基本的な取組(2桁コード)・主な内容(4桁コード)				指標数	3	3	2	2	2	※ 基本的な取		
				達成数	0	0	0	0	0	組・主な内 容の達成状		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	況			
				指標数	3	3	2	2	2			
			達成状況	達成数	0	0	0	0	0			
			基準値	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	主な内容管理指標				R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課		
	404 高校・行政との連携事	高校と連携した事 業数	R1	目標値	23	24	26	28	30	事業 🛴		
О	101 ^{同仪・11 以この建規争} 業の推進		22事業	実績値	16	15	22	15		企画課		
				評価		× 未達成		× 未達成		以上		
	400 高校・行政・関係団体	 高校・関係団体等	R1	目標値	11	12	13	14	15	事業。一二		
0	102 高校・17以・関係団体 等との連携の推進	同校・関係団体等 と連携した事業数	0 \$-70	実績値	4	10	10	5		企画課		
	3 = 1,2,3 = 12,2						× 未達成	× 未達成		以上		
	400 高校生おもてなし特派		R1	目標値	10	8	_	_	_	B /====		
О	103 同校主のもてなり特別 員事業の更なる推進	開催日数	98	実績値	6	5	_	_	_	観光課		
					× 未達成	× 未達成				以上		
	O1O1 高校との連携を深め、郷土愛醸成に必要な取組に努めていく。											
	R 0102 高校と関係団体との連携を深め、郷土愛醸成に必要な取組に努めていく。											
3			占から タ	話知业人	'^`\\	ルトな全角な	ノさわ 性	に号の体験	(公声) 拗<	今が生われ		
	0103 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種観光イベントの中止を余儀なくされ、特派員の体験(従事)機会が失われた。高校生をイベント等に従事させるには、感染状況の平穏化が待たれることから、実情に合わせてR4以降の目標値を修正した。											
	戦略論」のほか、連携	隽の可能性がある校	内事業の掘	り起こし	を行うこと	で、生徒達	の郷土愛に	つながる取締	組を増やして	ていく。		
R 0102 前年度の数値よりも数値が上回ったことは評価できるが、目標値には至らなかったため、高校と関係団体と 確成に必要な取組に努めている									との連携を認	架め、郷土愛		
4	版例に切安は以前におりていて。											
年 ˙	0103 本年度においても未だ新型コロナウイルス感染症が平穏化されなかったことから、対外的な交流や観光ボランティアへの依頼を見 送ったことにより特派員の体験(従事)機会が失われた。なお、本事業が令和5年度から廃止となったこと及び本事業に変わりう											
				パパこ。 る	の、本事業	かう和り年	及かり発止	となったと	こ及び本事	まに 変わりつ		
度一				1 +-1		7 31+"	* = # !-	の 生 # の コ #	********* フョ	5** O +0 (0 +2		
	O101 目標値を達成できなが こしを行い、生徒達の					る。51さ統	さ、局仪と	の連携の可能	能性がめる	事業の掘り起		
₽R	O102 高校と関係団体との過	重携を深め、郷土愛	醸成に必要	な取組に	努めていく	. 0						
5												
_	0103 本事業の中心を担って						0.24	っていること	とから、本語	事業は廃止と		
価	するが、引き続き、ス								- 00:	7		
	0101 目標値を達成できなが											
R	1											
6	一 加上友に ノなど の以下	国ではくしていて。										
	0102 令和5年度に市内3村							減りつつある	るため、各点	マの役割分担		
		或課題の解決に向け										